

# 第2期横浜市子どもの貧困対策に関する計画素案に関する 市民意見募集実施結果について

令和4年3月  
横浜市こども青少年局

## 目次

---

1.	実施概要.....	1
(1)	実施期間.....	1
(2)	周知方法.....	1
2.	市民意見募集結果.....	2
(1)	提出方法別の提出数.....	2
(2)	年齢層・男女別の提出数.....	2
(3)	子どもの有無、子どもの年齢別の提出数.....	3
(4)	施策体系別意見数.....	4
(5)	御意見への反映状況.....	4
3.	ご意見と対応の一覧.....	5

# 1. 実施概要

---

## (1) 実施期間

令和3年6月11日（金）～令和3年7月9日（金）

## (2) 周知方法

### ア 素案概要版リーフレット（約8,000部）の配布

市役所、区役所、保育所、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点、青少年の地域活動拠点、児童家庭支援センター、児童養護施設、国際交流ラウンジ等において配布、閲覧に供しました。

### イ 関係団体への個別説明

民生委員児童委員協議会、横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、日本保育協会横浜市支部、横浜市私立保育園連盟、横浜市私立保育園こども園園長会、横浜市幼稚園協会、地域子育て支援拠点施設長会、子育てパートナー連絡会、公立保育所代表園長会、中学校校長会等へ、素案及び市民意見募集の実施について説明を行いました。

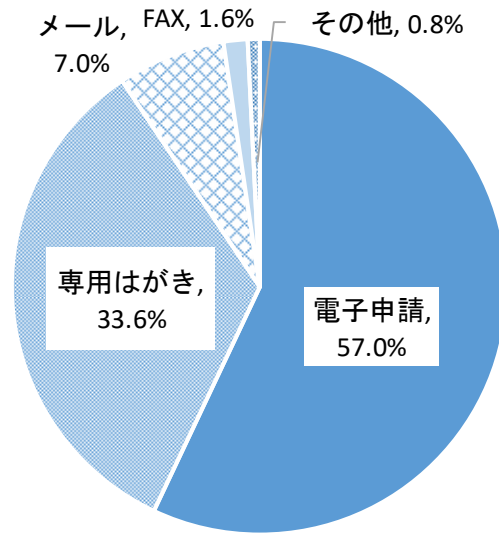
### ウ 市ホームページ及び広報よこはま（6月号）への掲載

## 2. 市民意見募集結果

市民の皆様から、128 通、196 件のご意見が寄せられました。なお、端数を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならないことがあります。

### (1) 提出方法別の提出数

提出方法	通数	比率
電子申請	73	57.0%
専用はがき	43	33.6%
メール	9	7.0%
FAX	2	1.6%
その他	1	0.8%
総計	128	100.0%



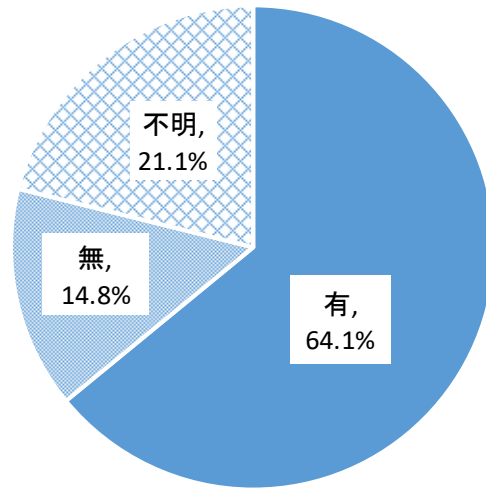
### (2) 年齢層・男女別の提出数

年齢層	通数				比率			
	女性	男性	その他	不明	女性	男性	その他	不明
20 歳代	3	3	0	0	5.0%	7.3%	0.0%	0.0%
30 歳代	14	3	1	0	23.3%	7.3%	100.0%	0.0%
40 歳代	16	16	0	0	26.7%	39.0%	0.0%	0.0%
50 歳代	16	11	0	0	26.7%	26.8%	0.0%	0.0%
60 歳代	9	4	0	0	15.0%	9.8%	0.0%	0.0%
70 歳代	2	4	0	0	3.3%	9.8%	0.0%	0.0%
80 歳代以上	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	0	0	0	26	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
総計	60	41	1	26	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### (3) 子どもの有無、子どもの年齢別の提出数

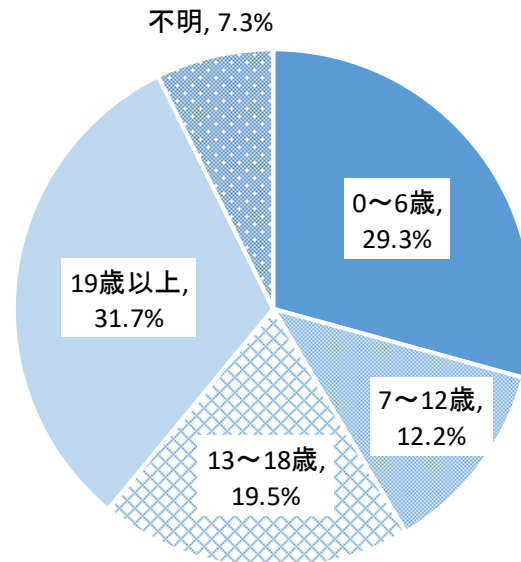
#### ア 子どもの有無別の提出数

子どもの有無	通数	比率
有	82	64.1%
無	19	14.8%
不明	27	21.1%
総計	128	100.0%



#### イ 子どもの有無に「有」と回答した方の子どもの年齢別提出数

子どもの年齢	通数	比率
0～6歳	24	29.3%
7～12歳	10	12.2%
13～18歳	16	19.5%
19歳以上	26	31.7%
不明	6	7.3%
総計	82	100.0%



※一番下の子どもの年齢

#### (4) 施策体系別意見数

施策体系等	意見数	比率
計画全体について	60	30.6%
子どもの貧困対策の基盤: 子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進	31	15.8%
主要施策Ⅰ: 気づく・つなぐ・見守る	31	15.8%
主要施策Ⅱ: 将来の自立に向けた子どもに対する支援	23	11.7%
主要施策Ⅲ: 生活基盤を整えるための家庭に対する支援	24	12.2%
主要施策Ⅳ: 子どもの貧困の背景に留意した多面的な支援	13	6.6%
その他	14	7.1%
総数	196	100.0%

#### (5) 御意見への反映状況

意見の分類	主な意見	件数	
素案を修正したものの	必要な方に支援が届くよう、支援策の周知が必要	14件	25件
	ヤングケアラーに対する支援が必要	3件	
	年齢別だけでなく、市民アンケート調査の対象全体の「貧困線を下回る世帯で生活する子ども等の割合」がわかるとよい	2件	
	計画に位置付けられている主な取組について、対象となる子どものライフステージが示されていると分かりやすい	2件	
	その他	4件	
素案に賛同いただいたもの	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域や企業、関係団体など様々な方が主体的に支援に参画していくことが必要	13件	61件
	子どもへの学習支援等の取組が必要	7件	
	子どもや家庭が抱える困難の見えづらさや、自ら助けを求めることが難しい場合があること等を踏まえた支援が必要	6件	
	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた対策が必要	5件	
	ひとり親家庭への支援が必要	3件	
	その他	27件	
計画推進の参考とさせていただくもの等	より一層の経済的支援が必要（幼児教育無償化の対象者の拡大、各種手当・助成等の拡充など）	32件	110件
	その他	78件	
合計		196件	

### 3. ご意見と対応の一覧

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
1	計画全体	子どもが大人になる前の学齢期の時期は非常に大切だと思う。施策についてはどの取組が学齢期にあたるかをわかりやすく示せればよいと思った。	修正	第4章の主な取組については、ライフステージの記載を追加しました。
2	計画全体	支援が必要な人ほど、行政や民間企業の行なっている支援を受けられない。自分で進んで情報を集めたりする力がない家庭が多いように感じる。本計画もそうだが、様々な支援があるのであれば、しっかり広報をして、利用してもらわなければならない。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
3	計画全体	計画の周知が重要。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
4	計画全体	貧困率が7.7%からどうなっているのか。わかりやすく全体の数字があると良いのではないのでしょうか。	修正	子どもの貧困に関する実態把握のための市民アンケートの対象全体の「世帯に含まれる子どものうち、貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合」を追記しました。なお、平成27年度に実施した市民アンケート調査は、0歳～24歳未満の子どものいる世帯の保護者を対象としており、今回の調査とは対象年齢区分等が異なるため、単純には比較できません。また、「世帯に含まれる子どものうち、貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合」である「7.7%」は、国において相対的貧困率を算出する際に用いている貧困線を基に算出したものであり、本市の中での世帯所得の額・分布を用いて新たに貧困線を定め、横浜市内における相対的貧困率を算出したものではありません。
5	計画全体	2ページの子供の貧困対策に関する大綱（概要）が見つらい。	修正	2ページの子供の貧困対策に関する要綱（概要）については、体裁を整えました。
6	計画全体	計画に書かれている事業のところで、支援する子どもや家庭の年齢があれば取組の視点ともつながると思いました。	修正	第4章の主な取組については、ライフステージの記載を追加しました。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
7	計画全体	これだけ色々なサービスがあることに驚きました。その一方で、行政サービスが子どもに知られていないのは、本人が貧困に気づいていないからではないでしょうか。そしてその親も色々な支援があることに気づいていない。市役所からもこのような場合にはこのような支援が使える、というのを伝えてもらえると対策はよりよいものになると思いました。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
8	計画全体	色々な対策があるのは計画でわかる。行政の役割としてはこういった対策があるというのをしっかり発信していくことも大切。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
9	計画全体	生活支援や学習支援、児童扶養手当、子ども食堂、公共料金の減免など、必要な情報にアクセスできていない世帯は多いと思います。あらゆる手段で知らせていく、ということが大事だと思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
10	計画全体	計画を作るのは良いが、対象者に届くように周知が必要だと思う。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
11	計画全体	計画としてはよくできていると思う。必要な人に支援が届くようにお願いします。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
12	計画全体	この計画に載せられた支援を分かりやすく表記したパンフレットを作成し、子どもを持つ保護者、子ども、社会的養護を受けている子どもに配布してほしい。紙媒体が難しければ、ウェブ上に作って見られるようにしてもいい。該当しそうな者には、事前に登録したLINEで、必要な支援を通知することも行ってほしい。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
13	計画全体	0歳から中学卒業まで、地域の住民が安心して子ども達を見守れる様に、行政のバックアップをしてもらいたい。何か問題事があった場合には、行政も一緒に解決をして、責任を共有出来る体制作りをしてもらいたい（責任を事業者だけにしない）。	賛同	子どもの貧困対策は、困難を抱える子どもや家庭に、日常の様々な場面で気づき、見守り、支援につなげていく方や、専門的な支援を担う方など、多くの方が役割分担をしながら支えていく取組です。 また、行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。 一方、支援に携わる方の中には、日ごろの子どもや家庭との関わりの中で悩みや不安を抱えていたりする場合もあり、行政としてしっかりとサポートしていくといった視点で計画を推進してまいります。
14	計画全体	市民アンケートでは、一人親の家庭の低所得者の方達が困難を抱えており、公的な支援を知らない人が多いとの結果が出ていました。ターゲットが明確なので、その方達にわかりやすい支援策一覧を作成して郵送、ネット等で質問を受けてその後相談員が訪問するなどの対応があると良いと思いました。	賛同	毎年度、児童扶養手当受給者あてに、ひとり親家庭に向けた支援策をまとめた一覧を送付しています。今後も頂いたご意見も踏まえながら、より分かりやすい周知方法や相談の受付方法を研究し、計画を推進してまいります。
15	計画全体	親の心得（子育ての楽しさ、大変さ、大切さ）みたいな事を妊娠期よりサポート、教育していく。オンライン受講必修事項を全て受講し終わると、何か税制上の優遇が受けられる等はどうか。 子どもが就学前までは区役所、小学校以降は各教育施設を使い実施。	賛同	横浜市版子育て世代包括支援センターや母子訪問指導等により妊娠期からの相談支援の充実や妊娠・出産・育児に関する支援等を行っています。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
16	計画全体	学校現場で働いているが、計画をみると子どもたちを支援する多くの事業があることがわかった。他の教員もそうだが、どこまで皆理解しているのか。しっかりと理解してもらうことも大切かと思う。	賛同	子どもの貧困対策は、行政だけでなく、地域や学校など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。計画推進にあたっては、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
17	計画全体	感染症で困っている人に向けた施策も必要。	賛同	新型コロナウイルス感染症の影響が今後も長引くことになれば、子どもの貧困を取り巻く状況はますます厳しくなることが懸念されます。 本計画を基に、引き続き、教育・福祉・子育て支援等の総合的な取組の充実を図るとともに、社会情勢を注視しながら、随時、施策の検討や各取組の拡充等を行ってまいります。
18	計画全体	対策を行なっていくことに関しては賛成。色々な支援の事業があることを知らなかった。本当に困っている人を助けて欲しいと思うが、その線引きは難しいのではと感じる。	賛同	頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
19	計画全体	全体的に貧困率は下がっているように思えるが新型コロナの影響もある中でなぜ下がっているのか。困っている人は増えているのではないのでしょうか。	賛同	子どもの貧困に関する実態把握のための市民アンケートは、令和元年所得を基に「世帯に含まれる子どものうち、貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合」を算出しているため、新型コロナウイルス感染症拡大前の所得で算出しています。 なお、支援者等ヒアリングでは、新型コロナウイルス感染症の影響による失職や、特にパートタイム等の非正規雇用で働く方の勤務時間や勤務日数の減少に伴う収入の減少により、困難を抱えている子育て世帯が増えていることが指摘されています。 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も長引くことになれば、子どもの貧困を取り巻く状況はますます厳しくなることが懸念されます。 本計画を基に、引き続き、教育・福祉・子育て支援等の総合的な取組の充実を図るとともに、社会情勢を注視しながら、随時、施策の検討や各取組の拡充等を行ってまいります。
20	計画全体	子どもの貧困対策としては、これからも拡大して実施していくべきだと考える。対策をしっかりと進めてほしい。	賛同	頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
21	計画全体	計画全体はバランスが取れていると感じた。様々なセクションが関係していると思うが、行政にありがちな縦割りにならないようお願いしたい。	賛同	子どもの貧困対策は教育、福祉、子育て支援等の幅広い分野に係る総合的な取組が必要であることから、こども青少年局、教育委員会事務局や健康福祉局などの関係局区間の連携を図りながら総合的な対策を進めていきます。
22	計画全体	取組の視点の妊娠、出産期からの切れ目のない支援体制が届く仕組みづくりは大変大事だと考えます。子どもにとっての1年1年は大事。抜け目がないようお願いします。	賛同	妊娠期から学齢期、青少年期に至るまで、困難を抱える子ども・若者、家庭に保育所、幼稚園、学校、地域、区役所等日常の様々な接点や関わりの中でいち早く気づき、関係機関のネットワークを充実させることで、早期に支援につなげていきます。 子どもや家庭に関わる様々な方が、地域の中で困難を抱える子ども・若者、家庭に寄り添い、見守ることにより、孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる環境づくりを進めます。
23	計画全体	貧困が子どもの将来に直接影響を与えることは間違いない。貧困対策としてあげられた基盤の中で、特に未就学期、高校生の時期（義務教育でない部分）に行政の力がより求められると考えた。	賛同	全ての子どもを対象とした「子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進」を子どもの貧困対策の基盤に据えるとともに、子どもの成長段階に応じ、家庭内の課題を早期に発見し、より困難な状況に陥ってしまわないよう、適切な支援を行ってまいります。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
24	計画全体	現在の日本ではセーフティネットが整備されているため、絶対的貧困を考える必要はないと思いますが、現場では相対的貧困はかなり深刻。子どもは勝手には貧困にはなりません。まずはその親の貧困を考えることが対策につながると考えます。 対策としては、金銭的な給付だけでは結局効果はないと考えます。社会参画のための就労支援（どこでもいいからとにかく働くということではなく）など自立をサポートする支援が要だと考えます。	賛同	子育て家庭の様々なニーズに対応した一時保育事業等や、育児に不安や課題等を抱える家庭に対する支援等により、保護者の心身の負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えます。また、生活基盤の弱い世帯等に対する経済的支援や就労支援等により、家庭の自立を促進します。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
25	計画全体	現在はコロナ禍でもあり、子どもの貧困対策は重要かつ急務だと思います。私は社会福祉法人の理事長として、行政とともに協力してできることはしたいと思います。	賛同	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。
26	計画全体	第3章社会全体で子どもの貧困対策の推進となっているが、地域や企業まかせにしてはだめ。行政としてもしっかり取り組んでいかなければならない。一人ひとりが当事者意識をもって対策に取り組むこと。それぞれが自分のやれることをしっかりできる対策となることを願います。	賛同	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。
27	計画全体	子どもの支援には子ども自身の希望や意見を取り入れることが必要。こうした機会や窓口を作してほしい。	賛同	子どもの貧困に関する実態把握のための市民アンケートでは、小学5年生、中学2年生のお子さんにも意見を伺いました。頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
28	計画全体	子どもを支援している地域の子ども食堂や学習支援団体、フードバンクへの支援・連携を強化してほしい。	賛同	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。
29	計画全体	計画に書いてあるが、貧困の子供だといっても状況はいろいろ。行政だけでなく、いろいろな力を結集して支援していかなければ、と思う。貧困の子どもを支えよう、という雰囲気や皆で作って行けたらと思う。対策が有効になり、必要な人に支援が届くよう願っています。	賛同	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
30	計画全体	5年前から地元で子ども食堂を開設しました。貧困対策として始めたわけではないですが、子どもたちに少しでも笑顔になってほしいという思いから有志を募りました。始めたころは2月に1回程度でしたが、週に1回開けるまでに至りました。定年退職された方が中心ですが、スタッフさんの数も増えてきています。子どもたちの笑顔を見るのが何よりの楽しみです。ただ、コロナで思うように活動できていないのが歯がゆいです。知り合いの運営している子ども食堂も中止していると聞いています。このまま子ども食堂がなくなってしまわないか心配です。横浜市も応援してもらえると助かります。	賛同	子ども食堂等の地域の自主的な取組が、子どもにとって安心できる居場所となり、困難を抱える子どもへの気づきや見守り等ができるよう、コロナ禍の状況も踏まえながら、地域における子どもの居場所づくりの支援を推進してまいります。
31	計画全体	法律が出来てから数年経っている。これまで進めてきた対策がどのように効果があったのか。貧困率はどのように下がっているのか。効果的な施策はこれからも行っていかなければならない。	賛同	これまでの振り返りについては、第1期計画（平成28年度～令和2年度）に基づき、養育環境等に課題がある子どもに対する生活・学習支援事業の実施か所数や受け入れ枠の拡充、児童虐待に対応するための区役所や児童相談所の機能強化、ひきこもり等の困難を抱える若者に対する個別相談や就労訓練の実施、ひとり親家庭に対する自立支援の充実など、総合的な対策を進めてきました。 また、様々な取組を進めてきた結果として、計画の進捗を把握する手立ての一つとして設定していた目標について、多くが計画策定時より改善しています。 なお、子どもの貧困に関する実態把握のための市民アンケート調査で算出している国の貧困線を下回る水準で生活する子どもの割合等についても、5年前と対象年齢区分等が異なるため、単純な比較はできませんが、改善傾向にあります。 今後も第2期計画に基づき、着実に計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
32	計画全体	学校では家庭がどう困っているのか、見えづらい部分がある。子供によっては家のことを話したがない。虐待がなければ児童相談所や行政からもアプローチができない。スクールソーシャルワーカーも巡回しているが、それでも学校だけでは対応は難しいと感じる。子どもが貧困になってしまうのは、ほぼなんらかの課題が保護者にあるのではないかと。親への支援が子どもの貧困対策には重要と感じる。	賛同	<p>困難を抱えている子どもや家庭の中には、必要な支援制度を知らなかったり、手続きが分からないということがあります。</p> <p>そのため、困難を抱えている子どもや家庭を、日常の様々な場面でできるだけ早期に発見し、具体的な支援や見守りにつなげていく必要があります。</p> <p>妊娠・出産・乳幼児期では、母子保健の取組や保育所、幼稚園、地域の子育て支援の場面で、学齢期にあっては、学校をはじめ、放課後の居場所や地域における様々な子どもの居場所において、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげてまいります。</p> <p>なお、家庭に対する支援としては、「第4章主要施策Ⅲ」に位置づけ、頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
33	計画全体	コロナの影響が予想より大きいことに驚いた。苦しんでいる方は相当いるのではないのでしょうか。まだまだ続くと思うので支援をお願いします。	賛同	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が今後も長引くことになれば、子どもの貧困を取り巻く状況はますます厳しくなることが懸念されます。</p> <p>本計画を基に、引き続き、教育・福祉・子育て支援等の総合的な取組の充実を図るとともに、社会情勢を注視しながら、随時、施策の検討や各取組の拡充等を行ってまいります。</p>



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
34	計画全体	<p>とても細かい事まで考えられていると思います。現実には実施できたら子どもの貧困格差は無くなるでしょう。</p> <p>しかし現実には、システムを作って活字化してもそこに導いてくれる人、それを知り、理解し、利用しようとする親を含めた大人がどれだけいるのか。大人がいるから安心ではないと思ってしまいます。</p> <p>横浜市の計画素案が机上の話で終わらない事を願っています。</p> <p>寄り添い、サポートが実のある物にするには、それだけ親身になって関わられる人材が必要なのではないのでしょうか。広く浅くの関わりでは、中途半端になってしまうので、広く大勢に関わろうとするのではなく、限られた少数の人であっても地道に実のある成果を目指して欲しいと思います。更に、ここに関わるスタッフの意識改革が最優先かもしれません。</p>	賛同	<p>子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。</p> <p>そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。</p>
35	計画全体	<p>学生など若い年齢で出産した女性ほど離婚率が高い。結果として金銭的に苦しくなり、その子供もしっかりした大学に入りづらくなる。そしてその子どもも若くして結婚して子どもを産む。その連鎖を止めなくてはならない。支援があっても届いていなければそれは支援がないことと一緒。</p>	賛同	<p>困難を抱えている子どもや家庭の中には、必要な支援制度を知らなかったり、手続きが分からないということがあります。そのため、困難を抱えている子どもや家庭を、日常の様々な場面でできるだけ早期に発見し、具体的な支援や見守りにつなげていく必要があります。妊娠・出産・乳幼児期では、母子保健の取組や保育所、幼稚園、地域の子育て支援の場面で、学齢期にあっては、学校をはじめ、放課後の居場所や地域における様々な子どもの居場所において、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげてまいります。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
36	計画全体	経済的な貧困はもちろんですが、外形上は見えにくい困難を抱える子どもや家庭への支援の充実にも期待しています。	賛同	<p>困難を抱えている子どもや家庭の中には、必要な支援制度を知らなかったり、手続きが分からないということがあります。</p> <p>そのため、困難を抱えている子どもや家庭を、日常の様々な場面でできるだけ早期に発見し、具体的な支援や見守りにつなげていく必要があります。</p> <p>妊娠・出産・乳幼児期では、母子保健の取組や保育所、幼稚園、地域の子育て支援の場面で、学齢期にあっては、学校をはじめ、放課後の居場所や地域における様々な子どもの居場所において、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげてまいります。</p>
37	計画全体	子どもの貧困対策は行政だけでなく、NPO 法人など民間企業とも連携して対策を進めていくべきと考える。社会全体で子どもを支えていくことが大切ではないか。	賛同	<p>子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。</p> <p>そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。</p>
38	計画全体	横浜の将来を担う子どもたちが、経済的な理由で学習の機会を奪われたり、孤立したりすることがないように、取組を充実してください。	賛同	<p>横浜の未来を創る子ども・青少年が、自分の良さや可能性を発揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会をつくりだしていく力を育むことができるよう、頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
39	計画全体	<p>H30年の全国のこども貧困率が7人に1人というのも大変な事だなと感じる数ですが、このコロナ禍の影響でさらにその数が増大したり、深刻化しているだろうと思われまます。</p> <p>経済的な困窮世帯は一刻の猶予なく救済が必要でしょう。</p> <p>5年間の計画で長期的に見たり継続していく必要性もありますが、まず急な変化に対応しきれていない人たちを支援してあげて欲しいです。</p>	賛同	<p>支援者等ヒアリングでは、新型コロナウイルス感染症の影響による失職や、特にパートタイム等の非正規雇用で働く方の勤務時間や勤務日数の減少に伴う収入の減少により、困難を抱えている子育て世帯が増えていることが指摘されています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が今後も長引くことになれば、子どもの貧困を取り巻く状況はますます厳しくなることが懸念されます。</p> <p>本計画を基に、引き続き、教育・福祉・子育て支援等の総合的な取組の充実を図るとともに、社会情勢を注視しながら、随時、施策の検討や各取組の拡充等を行ってまいります。</p>
40	計画全体	<p>貧困は親の精神や発達の障害と子どもの支援、更に教育は切り離して考えることができません。学校教育の場に全て対応できる様な統合施設を作り、家庭を支援できたら良いと思います。①親を医療につなげる役目、②子どもを医療につなげる役目、③社会的資源につなげる役目、④愛着をもってかわり育てる役目、⑤学習を教える役目、⑥子どもの安全を保障する役目(①心理士、保健師②児童心理士③社会福祉士④保育士⑤教師⑥警官 ※学校現場に負担がかかり過ぎている様に見え、問題が大きくなってから、それぞれが対応している。)。役割を分担し、きちんと支援、教育を受け、貧困連鎖が起きないようにすること、児童保護施設の増設も含め考え、保育料の無償化を止め、子どもの教育に予算を掛けてくれる国にしないと、未来は暗い。高齢者より子どもの命、心を一番に考えられる大人が増えて欲しい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
41	計画全体	福祉施設関連の職場は人材不足が常態化している。待遇面の貧弱さが原因であり、質の高い人材も集まらない。ソフト面にも力を入れて欲しい。人材が充足することによって、援助、支援が必要な市民に行き届いた手が差しのべやすくなる。家庭訪問でFace to Faceの対応を充実させることによって困窮状態や虐待等把握しやすくなる。問題の早期発見にはそれに関わる人材の充実が必須です。ハード面の量産よりソフト面の充実を。	参考	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
42	計画全体	素案の4ページ「計画の進捗状況の把握」の高校生の欄が全日制と定時制が合わさった状態で「直近の現状値」「目標値」が掲載されております。 就学継続率も進路決定率も全日制高校と定時制高校では大きな開きがございます。 その平均値を市民が見た場合、勘違いしなければよいと思いました。 子どもの貧困状況は、進学重点校のある全日制高校と評定がオール1でも入学できる定時制高校では大きな違いがあることをご理解ください。 生活保護世帯数や就学支援金受給世帯数についても、調査しているかも知れませんが、経済的に非常に困っているのは圧倒的に定時制高校に通っている生徒であることをお伝えいたします。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
43	計画全体	大変興味深い施策ですが、これらがスローガンにならず具体的に実行されるためには根本的な社会の仕組み、政治、経済の改革が必要だと思えます。このままでは貧富の格差は広がるばかりです。横浜市がこれからの持続可能な共同体の在り方としてフロントランナーになれるよう、その中核となる施策が子どもの貧困対策となるよう期待しています。	参考	国や県との役割分担のもと、子どもや家庭と多様な場面で直接関わることのできる基礎自治体として、実効性の高い施策を展開し、支援が確実に届く仕組みづくりを進めます。
44	計画全体	貧困の連鎖が続いている原因（数値化）を子どもたちに伝えていく。 例：親が離婚している→その子どもが離婚する傾向が高い/親が高卒で大学・専門学校に行っていない→その子どもも同じ道を歩みやすい等。 生活をするには、いくら稼ぐ必要があって、年収いくら未満だと相対的貧困になるなど、具体的かつ現実的な話を早いころから伝えていく。貧困連鎖を断つために、自立をする為にはどの程度の学歴・稼ぎが必要なのかを具体的に繰り返し伝えていく必要がある。現実的な話をすることにより、自分自身の現実を変えていけるチャンスにつながる。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
45	計画全体	子どもの孤立を防ぐためには、児童館の整備が必要。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
46	計画全体	支援の種類は多いがわかりづらい。困っている人が使い易いように名称や説明を分かりやすくしてください。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
47	計画全体	三人目の子供に対して、保育料の無償化、高校無償化をして欲しい。将来的に貧困につながり、少子化にどんどん向かってしまうことを金銭面から助けて欲しい。人口は国力。横浜が日本を引っ張っていく気概を見せて欲しい。期待しています。	参考	子どもが複数人いるご家庭の利用料軽減措置（多子軽減）については国の基準に則った軽減を行っております。上のお子さんが小学生となると減免が適用されなくなるため、制度の分かりづらさや、子どもの人数に応じた負担軽減とはなっていないという課題があります。更なる負担軽減策の実施に向けて、本市の財政状況を考慮しながら、対象範囲や減免額を検討していきます。お子さんが複数人いらっしゃるご家庭において、金銭的な負担をはじめとし、様々なご苦労があると思います。頂いたご意見につきましては、今後の本市の子育て支援を充実させていくための参考とさせていただきます。
48	計画全体	親の支援につながるためのケアマネージャーのような役割の人が必要。支援は多種あるがなかなか利用できていないと思うので、ワンストップで支援につながるようにしてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
49	計画全体	日本は高齢者に対してお金を使いすぎている。少子高齢化社会で今後ますますお金が必要になるのではないか。そういう意味だと未来ある子どもにもっとお金を使ったほうがよいと考えます。横浜市も多くの計画を作っているが、子どもの貧困対策は本当に重要だと思う。子どもたちのこれからを守るためにしっかりと対策を打ってほしい。	参考	横浜の未来を創る子ども・青少年が、自分の良さや可能性を発揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会をつくりだしていく力を育むことができるよう、着実に計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
50	計画全体	<p>まずは子供の人口を増やす施策が必要。</p> <p>高等教育に進みたくても大学、大学院の入学金、授業料がOECD加盟先進国と比較しても日本は高い現状。</p> <p>横浜市の子供の人口を増やし、私学も含めて大学院まで自己負担を現状より軽減し通える制度を整える。</p> <p>若い既婚者世帯を誘致し子供を一人つくるのにあたり市が独自の給付金を支給する。これは以前よりフランスでも行われ、福島県など地方行政でも同様の施策があります。</p> <p>自治市であるのと同時に日本の西洋貿易、文化の入り口である都市であることから、国際的な感覚を持たせるために積極的に交換留学を市が整え、子供達が教科書から世界を知るのではなく、山下町や大黒埠頭を見てイメージさせることでキャパを広げさせる。</p> <p>劣悪な環境の子供を1人も置き去りにすることなく、差別もなくフラットに教育を受けられる土台を作る。</p>	参考	<p>全ての子どもを対象とした「子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進」を子どもの貧困対策の基盤に据えるとともに、社会を生き抜く力を育む教育の推進に取り組みます。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
51	計画全体	<p>子どものためにもっと予算を使って下さい。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
52	計画全体	<p>様々な事業が貧困対策としてあげられているが、実際に地域の中でこういった事業に基づいた施設があまりにも少ない。もっと身近に子育てが困難になっている家庭を支援してくれる場がなければ、助けてもらおうにもどこへ行くべきか見えないのが現実だ。もっと住みやすい街に、あたたかい行政になるよう、予算を倍増して取り組んでほしい。</p>	参考	<p>子どもや家庭に関わる様々な方が、地域の中で困難を抱える子ども・若者、家庭に寄り添い、見守ることにより、孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる環境づくりを進めます。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
53	計画全体	困難を抱えている人への素早い対応の重要性を感じている。又、対応後の経過を追ってほしい。	参考	妊娠期から学齢期、青少年期に至るまで、困難を抱える子ども・若者、家庭に保育所、幼稚園、学校、地域、区役所等日常の様々な接点や関わりの中でいち早く気づき、関係機関のネットワークを充実させることで、早期に支援につながっていきます。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
54	計画全体	第2章の「本市の子どもの貧困の状況」の分析は立派だが、第3章の「本市の子どもの貧困対策」や第4章の「子どもの貧困対策に関する取組」の内容が乏しく抽象的でわかりづらいとともに実効性ある取組となっていない。また、他の自治体の取組に対する分析が足りない。明石市や寝屋川市を参考にしてほしい。このまま策定せず、計画策定をやり直してほしい。	参考	本計画は、本市における子育てや教育分野の総合計画である「第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画」「第3期横浜市教育振興基本計画」の課題背景や基本的な考え方を基に、子どもの貧困対策に資する取組を改めて整理し、今後5か年で取り組む施策について示したものです。 また、実効性の高い施策を展開するとともに、支援が確実に届く仕組みづくりを進めていくために、実態把握調査を行いました。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
55	計画全体	この計画だけを見ても、当事者が何の支援を得られるのか具体的にわからない。この計画書を当事者に渡してもわかるように、主要施策を具体的に、いつ、誰が、どのように、支援を受けられるか、表記してほしい。今のままでは、あまりにも抽象的です。せっかく横浜市が支援を行っていても、この計画を読んでも分からずにウェブで検索しなければわからないのでは、計画の体を成しておりません。横浜市が現に行ってる支援は、この計画を読めば全容が具体的にわかる位に示して下さい。	参考	本計画は、本市における子育てや教育分野の総合計画である「第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画」「第3期横浜市教育振興基本計画」の課題背景や基本的な考え方を基に、子どもの貧困対策に資する取組を改めて整理し、今後5か年で取り組む施策について示したものです。 また、実効性の高い施策を展開するとともに、支援が確実に届く仕組みづくりを進めていくために、実態把握調査を行いました。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
56	計画全体	計画の対象が「生まれる前から大学等を卒業した後の自立に向けた支援を含め概ね 20 代前半までの、現に困窮状態にある、又は、保護者の疾病・障害やひとり親家庭であることなどにより、困難を抱えやすい状況にある子ども・若者とその家庭」とのことだが、既に貧困状態にある子どもは7人に1人であり、その直前にある子どもを含め予防を行った方がいいこと、コロナ禍で子どもがこころの貧困や問題を抱えやすいことを考えると、限定せず、子ども全体とした方がいいと考える。	参考	本計画では、横浜の未来を創る全ての子ども・青少年が、自分の良さや可能性を發揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会をつくりだしていく力を育むことができることを目標にしています。 子ども・青少年が健やかに育ち、自立した個人として成長できるように、その生まれ育った環境に関わらず、教育・保育の機会と必要な学力を保障し、たくましく生き抜く力を身に付けることができる環境を整えてまいります。
57	計画全体	第3章の計画の進捗状況の把握となる指標が、あまりにも限定的で、この指標をもってして計画が達成されたと捉えるには覚束ない。「保育所待機児童数」は「保留児童」を含んで指標とすべきであるし、高校生の指標は「市立高等学校」に限定せずに捉えるべきであるし、社会的養護を必要とする子どもの指標は、具体的援助を行うべき指標をいくつか取り上げて捉えるべきだと思う。	参考	本計画の取組の視点の一つである、妊娠・出産期からの切れ目のない支援体制が届く仕組みづくりを踏まえ、子どもの成長段階や子どもの貧困と関連する様々な要因に応じた指標を設定しています。 各指標については、子育てや教育分野の総合計画である「第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画」「第3期横浜市教育振興基本計画」との整合を図りつつ、主に、施策を実施した成果等について、客観的数値として把握できるものや子どもの貧困対策としての性格が強い取組の実績を表すものを設定しています。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
58	計画全体	横浜にどの程度貧困の子どもがいるのでしょうか。この計画にも書いていないように思います。	その他	市民アンケート調査から得られたデータを用いて、国が相対的貧困率を算出する際に用いている国民生活基礎調査に基づく等価可処分所得額の中央値の半分、いわゆる「貧困線」を基に、本市において国の貧困線を下回る水準で生活する子どもの割合をアンケートの対象学年別に算出しました。その結果、本市において国の貧困線を下回る水準で生活する子どもの割合は、5歳児が6.1%、小学5年生が7.8%、中学2年生が6.9%となっています。なお、対象年齢区分等が異なるため、単純な比較はできませんが、5年前に実施した調査では、本市において国の貧困線を下回る水準で生活する子どもの割合は、7.7%となっています。
59	計画全体	調査の対象が小学5年生と中学2年生なのはなぜでしょうか？ 様々な施設にヒアリングしていますが、個別の結果が知りたい。	その他	子どもの貧困に関する実態把握のための市民アンケートについては、子ども自身が設問趣旨を理解して適切に回答できる年齢である必要があること、また、小学6年生や中学3年生は進学(受験)を控えていることから、その1学年下の小学5年生、中学2年生を対象としました。 子どもの貧困に関する実態把握調査結果については、本市ホームページにて公表しています。  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/kodomo/sonota/shingikai/plan/kodomoplan2016-2021.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/org/kodomo/sonota/shingikai/plan/kodomoplan2016-2021.html</a>
60	計画全体	高校生や大学生にはアンケート調査を行っていないのでしょうか。彼らも対策の対象なのではないですか。	その他	中学卒業後から20代前半までの若者については、高校生や大学生、就労されている方など、状況が様々であるため、アンケートによる一律の調査ではなく、支援者等ヒアリング等により実態を把握しています。
61	子どもの貧困対策の基盤	皆、各々が自分がどこに連絡すれば良いかを明確にされていることがまず第一と思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
62	子どもの貧困対策の基盤	第4章に記載されている(2)つながりを重視した教育保育の推進について、保育園と小学校との円滑な接続しか取り組みがないのは何故か。子どもの学力保障が重要であるという考えであれば小学校と中学校のつながりも大切だと考える。	修正	第4章の子どもの貧困対策の基盤の主な取組(2)つながりを重視した教育・保育の推進について、主な取組「小中一貫教育の推進」を追加しました。
63	子どもの貧困対策の基盤	幼い子どもから発信することは不可能であり、おとなも又、発信する方法も分からない場合が多いと思います。見守る観察者と各機関の連携が不可欠だと考えます。	賛同	困難を抱えている子どもや家庭の中には、必要な支援制度を知らなかったり、手続きが分からないということがあります。そのため、困難を抱えている子どもや家庭を、日常の様々な場面でできるだけ早期に発見し、具体的な支援や見守りにつなげていく必要があります。妊娠・出産・乳幼児期では、母子保健の取組や保育所、幼稚園、地域の子育て支援の場面で、学齢期にあっては、学校をはじめ、放課後の居場所や地域における様々な子どもの居場所において、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげてまいります。
64	子どもの貧困対策の基盤	ひとり親世帯や貧困世帯が正規雇用で安心して働くため、保育施設の担う役割は非常に大きいと考えています。ただ、保育の場を増やせばいいというだけでなく、現場で働く保育士の「保育の質の向上」及び「保育士自身の人間力、QOLの向上」が重要かと思います。保育士が一社会人として社会に貢献していけるよう、研修の機会を増やすことができれば良いと思います。また、保育士は離職率が高いため、専門学校段階から社会人としての基礎力、一般常識、保育士の給与のしくみ等を学べると良いかと思います。	賛同	保育・教育施設を対象とした職種や経験年数別等の研修実施などによる保育・幼児教育の質の向上を図ってまいります。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
65	子どもの貧困対策の基盤	子どもの貧困と学力について そもそも、義務教育期間は学校に通学していれば学力の保障はされるべきで、貧困のため学習塾に行けない、等は、問題になることがおかしいと思う。まずはしっかりと学校での学力の保障がなされるべきと考えます。	賛同	全ての子どもを対象とした「子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進」を子どもの貧困対策の基盤に据えるとともに、学校における一人ひとりの自立に向けた基礎学力の向上など、社会を生き抜く力を育む教育の推進に取り組みます。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
66	子どもの貧困対策の基盤	子どもの貧困は親の貧困が原因。特にシングルマザーの貧困が深刻。すぐに支援を受けられるよう手続きを簡便にして欲しい。	賛同	子育て家庭の様々なニーズに対応した一時保育事業や、育児に不安や課題等を抱える家庭に対する支援等により、保護者の心身の負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えます。また、ひとり親家庭などの生活基盤の弱い世帯等に対しては、経済的支援や就労支援等により、家庭の自立を促進します。手続き面でのご負担も考慮し、頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
67	子どもの貧困対策の基盤	子供が小さい頃からの教育が大切と考える。貧困の家庭だけでなく、全ての子どもの教育を充実させてください。計画自体は良くできていると思う。	賛同	教育・保育は、経済的な困窮状態にあるなど、困難を抱えやすい状況にある子どもを含めた全ての子どもに対する営みであり、その中で子どもたちに必要な力を育むことが、子どもの貧困対策の基盤となるものと考えます。家庭の状況に関わらず、全ての子どもが質の高い教育・保育を受けることにより、子どもが健やかに育ち、自立した個人として成長できるよう、たくましく生き抜く力を育めるよう、着実に計画を推進してまいります。
68	子どもの貧困対策の基盤	子どもの孤立について、余裕のない親は、学童などの登録に関する手続きや方法を調べたりすることが出来ない。地域に『いつきてもO.K.だよ』と言える場所と「人」を配置できるといい。 この「人」が子どもの話をきいたり、一緒に遊べたり、学校の宿題をみてくれたり出来るといい。	賛同	妊娠期から学齢期、青少年期に至るまで、困難を抱える子ども・若者、家庭に保育所、幼稚園、学校、地域、区役所等日常の様々な接点や関わりの中でいち早く気づき、関係機関のネットワークを充実させることで、早期に支援につなげていきます。 子どもや家庭に関わる様々な方が、地域の中で困難を抱える子ども・若者、家庭に寄り添い、見守ることにより、孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる環境づくりを進めます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
69	子どもの貧困対策の基盤	大学や専門学校の費用を負担する制度を手厚くする分、アメリカのような学校を卒業するまでの過程を難しいものとして行く。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
70	子どもの貧困対策の基盤	子供の貧困を減らす為スーパーで買い物できる金券を毎月配布したら良い。 タバコ酒以外の食品に使える。 アメリカではフードスタンプやWICプログラムなど既に行われている。 日本の子供は低身長や体重が少ない傾向にあるので低所得者や1人親世帯に金券を配布したら良い。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
71	子どもの貧困対策の基盤	安心して子育てをするため現在の保育園が子どもを選ぶような状態では安心して就労、子育てはできないと思う。行きたい保育園へスムーズに行けるようにしなければ、どこかに無理を強いられながらの子育てになってしまっていると思います。	参考	多様な保育・教育ニーズへの対応を図り、待機児童解消に向けて保育・幼児教育の場の確保に取り組んでまいります。 頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
72	子どもの貧困対策の基盤	幼児教育の無償化についてはどれだけ意味があったのかしっかり検証ができているのか。無償化というと聞こえはいいし、助かっている人もいるとは思いますが、一律で無償化するのはおかしいという考え方もある。 少子高齢化で税収が厳しい中、お金の使い方は横浜市としてもしっかり考えるべき。 子どもの貧困対策を進めていくことについては賛成。お金の問題である面が大きいと思う。減免制度の拡充が必要ではないか。	参考	幼児期は、能力開発や人格形成にとって極めて大切な時期であり、この時期における幼児教育の役割は大変重要です。経済的な負担軽減とあわせて、全ての子どもが質の高い教育を受けられるという点において、無償化は大きな意義があると考えています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
73	子どもの貧困対策の基盤	たくさんの細やかな取り組みや支援があるのだとわかりました。貧困の連鎖を断ち切ることが、目標だと思います。その為には、子どもへの教育の機会が未来ある子どもを育てます。教育現場の人員を増やし、知識と教養のある大人が子どもをサポートするべきだと思います。人まかせ、教養の無い親は、どんなサポートをしても変わらない。産めば、誰かが何とかしてくれると考えているのでしょうか。そのような大人を増やさないために子どもへの教育を手厚くサポートしてあげたい。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
74	子どもの貧困対策の基盤	学校での学習ツールがパソコンやタブレットに変わることのデメリットについてももしっかり考える必要がある。手書きで何度もくり返し書くことで記憶に残りやすく、子どもたちの理解力向上につながると考えられる。いじめられていて不登校気味の子どもたちにとっては、学校に行かずとも学習できることはメリットかと思うが、デメリットがあることも踏まえて、取り組んでいく必要がある。	参考	G I G Aスクール構想により、1人1台端末が配当されましたが、その活用自体が目的化してしまわないように留意し、教育の質の向上のために、発達の段階や学習場面等により、これまでの学習形態と適切に組み合わせて有効に活用することが大切であると考えています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
75	子どもの貧困対策の基盤	保育園はとにかく人手不足です。寿退職者が出やすく、育休の間の臨時雇用すらままなりません。年から年中募集中という状況です。	参考	保育士の確保については、就職面接会や見学会、宿舍借り上げ支援事業、処遇改善、働きやすい職場環境の構築など、「採用」と「定着」の両面からさまざまな取組を行っています。 今後も、頂いたご意見も踏まえながら、一人でも多くの保育士の方に市内保育施設に従事していただけるよう、着実に計画を推進してまいります。
76	子どもの貧困対策の基盤	貧困化が進んでいて対策を考えるのであれば、税金を免除していただきたいです。横浜市では水道代もこれからあがるし、みどり税といいどうでもいい税金の見直しを考えてもらいたいです。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
77	子どもの貧困対策の基盤	母親が働こうとしても保育園満員で預け先がなく働けない。真剣に行政がそこを解消しないと貧困化は止まらないと思います。	参考	多様な保育・教育ニーズへの対応を図り、待機児童解消に向けて保育・幼児教育の場の確保に取り組んでまいります。 頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
78	子どもの貧困対策の基盤	まず、貧困層への手厚い補助をする。その事によって、将来その子供たちが学校に行けないなどの心配もしなくなり将来の自立に向けた暮らしをさせることができる。しかし、簡単に補助を出すと良くないことを考える人もいるのでその辺は懸念点である。しっかりとした審査のもと、支援をしていくべきである。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策 体系等	ご意見	対応 状況	ご意見に対する考え方
79	子どもの 貧困対策 の基盤	幼児教育・保育の無償化対象外の保護者負担軽減策を拡充すること。副食費の減免は低所得者層・多子世帯にとどまらず、対象者を拡大すること。	参考	<p>0～2歳児の保育料について、市民税非課税世帯においては、全ての3～5歳児と同様に無償化対象としております。</p> <p>また、0～2歳児の市民税課税世帯については、無償化の対象とはなりません。国が定めた負担区分の階層に一定の市費を充て保護者負担の軽減を行っています。</p> <p>さらに、令和3年度から「横浜市幼児を対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業」を実施しています。本事業は、国の事業に基づき、一定の基準を満たす、幼児を対象とした多様な集団活動を利用する保護者の経済的負担を軽減する観点から、幼児教育・保育無償化の給付を受けていない保護者にその利用料の一部を給付するものです。</p> <p>3～5歳児の教育・保育における食料費に関しては、幼児教育・保育の無償化の実施にあたって、国における検討会の中で、以下①～④を踏まえて無償化の対象から除くべきであることと整理されました。</p> <p>① これまでも基本的に、実費徴収又は保育料の一部として保護者が負担してきたこと</p> <p>② 在宅で子育てをする場合でも生じる費用であること</p> <p>③ 学校給食や他の社会保障分野の食事自己負担とされていること</p> <p>④ 幼稚園（教育・保育認定区分1号）と保育所（教育・保育認定区分2号）の取り扱いを統一すべきであること</p> <p>こうした趣旨や経緯を踏まえ、本市としても食料費については保護者による実費負担として整理しており、副食費に対して本市独自で補助を行う予定はありません。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
80	子どもの貧困対策の基盤	学校の健康診断で要受診とされた児童・生徒の未受診を家庭任せにせず、学校保健の体制を充実させ、フォローすること。	参考	定期健康診断の結果については、夏休み前の保護者面談等の機会を通じ各家庭にお知らせを行い、準要保護家庭には学校病治療券を発行しています。また、心臓検診や腎臓検診で要受診となった児童生徒については、横浜市医師会と連携し公費で指定医療機関を受診できる検診システムが構築されています。さらに受診の有無について教育委員会も把握し、受診につながるよう働きかけをしています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
81	子どもの貧困対策の基盤	全員が食べられる中学校給食を実施し、公立小・中学校での給食無償化をめざすこと。	参考	令和3年度からデリバリー型の給食を事業期間を5年間として実施しています。なお、本事業のあり方については今後の検討課題として認識しています。 また、学校給食の実施に係る費用については、学校給食法第11条および施行令により、学校設置者の負担と保護者の費用負担の区分が示されており、食材費相当分を給食費として徴収しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
82	子どもの貧困対策の基盤	生理の貧困問題解消の取り組みが始まっており、女性が安心して学校生活を送れるよう、学校トイレにトイレットペーパー同様に生理用品を備えること。	参考	市立学校においては、長年にわたる保健指導の一環として生理用品の無償提供等を行っています。この取組を継続するとともに、養護教諭を中心に、児童支援・生徒指導専任教諭やスクールソーシャルワーカーなど組織的な連携を強化し、児童生徒からの相談に適切に対応します。 また、令和3年度は、市内防災備蓄庫に備蓄している生理用品の一部を、更新に併せて、市立学校における保健指導等にも活用しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
83	子どもの貧困対策の基盤	ICT 教育推進においては、教育格差を拡大させないため、特に高校生のパソコン所有・ネット接続を含めて保護者負担に補助すること。	参考	<p>小中学校については、臨時休業等の際、就学援助世帯で通信環境のないご家庭には、モバイルルータを貸与する等しています。</p> <p>高等学校における ICT 環境の整備については、令和2年度に校内無線 LAN 及び端末未所有者等への貸出用端末の整備を行いました。</p> <p>また、低所得者世帯に対しては、生活保護費や高校生等奨学給付金等により対応いただくこととしておりますが、臨時休業等の緊急時に備えたモバイルルータの家庭への貸与については、今後検討してまいります。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
84	子どもの貧困対策の基盤	子どもが2人いますが、保育料があまりにも高すぎる。他の区や市と比べても金額が違うし、横浜より安いところが多くあるのはなぜか。年齢で区切らずすべて無償化にすべき。	参考	<p>子どもが複数人いるご家庭の利用料軽減措置（多子軽減）については国の基準に則った軽減を行っております。上のお子さんが小学生となると減免が適用されなくなるため、制度の分かりづらさや、子どもの人数に応じた負担軽減とはなっていないという課題があります。</p> <p>更なる負担軽減策の実施に向けて、本市の財政状況を考慮しながら、対象範囲や減免額を検討していきます。</p> <p>お子さんが複数人いらっしゃるご家庭において、金銭的な負担をはじめとし、様々な苦勞があると思います。</p> <p>頂いたご意見につきましては、今後の本市の子育て支援を充実させていくための参考とさせていただきます。</p>
85	子どもの貧困対策の基盤	乳幼児期の保育・教育は、子どもの人格を形成するうえで非常に重要だと思えます。保育所の整備も必要ですが、保育の質を高めることに重きを置いた取組をお願いします。	参考	<p>保育・教育施設を対象とした職種や経験年数別等の研修実施などによる保育・幼児教育の質の向上を図ってまいります。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
86	子どもの貧困対策の基盤	横浜の子どもたちの健やかな成長を支えるためには行政がしっかり環境を整えることがとても大事です。特に6人に1人が子どもの貧困といわれる中で、今、生理用品を学校のトイレに設置を求める声広がっています。生理のことは人権のことでもあります。学校の保健室には備えてあるとは思いますが、いざというときに保健室までいくには間に合わない、保健室にだれかいると言いづらい、貧しい家だと宣言しているようで、という声があります。ぜひ子どもたちの心のケアを考えて、トイレ設置を早急にのぞみます。	参考	市立学校においては、長年にわたる保健指導の一環として生理用品の無償提供等を行っています。この取組を継続するとともに、養護教諭を中心に、児童支援・生徒指導専任教諭やスクールソーシャルワーカーなど組織的な連携を強化し、児童生徒からの相談に適切に対応します。 また、令和3年度は、市内防災備蓄庫に備蓄している生理用品の一部を、更新に併せて、市立学校における保健指導等にも活用しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
87	子どもの貧困対策の基盤	貧困対策には教育が一番大事だと考える。学校でしっかり教育すべき。	参考	全ての子どもを対象とした「子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進」を子どもの貧困対策の基盤に据えるとともに、家庭の状況に関わらず、全ての子どもが質の高い教育・保育を受けることにより、子どもが健やかに育ち、自立した個人として成長できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
88	子どもの貧困対策の基盤	明石市のように、子どもの医療費を18歳まで無料にしてください。	参考	小児医療費助成制度の見直しにつきましては、多くの市民の方々から様々なご意見を頂戴しており、厳しい財政状況の中、持続可能な制度となるよう、丁寧に検討を進めているところです。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
89	子どもの貧困対策の基盤	0～2 歳児の市民税非課税世帯や3～5 歳児の保育料等利用料の無償化のみならず、明石市のように保育料を2 人目から無料にして下さい。	参考	子どもが複数人いるご家庭の利用料軽減措置（多子軽減）については国の基準に則った軽減を行っております。上のお子さんが小学生となると減免が適用されなくなるため、制度の分かりづらさや、子どもの人数に応じた負担軽減とはなっていないという課題があります。 更なる負担軽減策の実施に向けて、本市の財政状況を考慮しながら、対象範囲や減免額を検討していきます。 お子さんが複数人いらっしゃるご家庭において、金銭的な負担をはじめとし、様々なご苦労があると思います。 頂いたご意見につきましては、今後の本市の子育て支援を充実させていくための参考とさせていただきます。
90	子どもの貧困対策の基盤	寝屋川市のように、学童期にある子どもに自宅に持ち帰られるタブレットを貸与するとともに家庭でのWiFi 端末も貸与し、コロナ禍でも安心して自宅で勉強できるようにするとともに、自宅での学習も考課の対象として評価するように、教育委員会と連携して行ってください。コロナ禍はまだまだ続くので、早急に対応して下さい。	参考	小中学校については、令和元年度までに整備した端末を学校外の他のネットワークでも活用できる設定としています。また、臨時休業等の際、就学援助世帯で通信環境のないご家庭には、モバイルルータを貸与しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
91	子どもの貧困対策の基盤	これ以上の市立保育園の民間移管をやめること。	その他	「市立保育所のあり方に関する基本方針」の中で、市立保育所の今後の方向性として果たすべき役割・機能を整理し、ネットワーク事務局園を54 園としました。なお、ネットワーク事務局園以外の市立保育所については、民間移管等の対象とし、計画的に移管をすすめることとしました。 また、移管後は、利用者の皆様の多様なニーズに迅速に対応するとともに、民間の力の活用による保育環境の改善等が図られており、事業計画に沿って民間移管を進めてまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
92	主要施策Ⅰ	児童虐待について、子どもが自ら気付いて SOS を発せられるように、子どもに対しても啓発授業を行ってください。「かながわ子ども家庭 110 番相談 LINE」が書いてありますが具体的にわかりづらいので、子どもが読んでもわかるように市民向けお知らせの内容で、枠で囲んで表記して下さい。	修正	「かながわ子ども家庭 110 番相談 LINE」の記載内容について、修正しました。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
93	主要施策Ⅰ	自分の周りにも貧困の子供がいるんだという意識を持たないと、困難をかかえた人がいても気がつかないと思います。「気づく」ということが一番大切です。市民への啓発に力を入れていただきたいと思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
94	主要施策Ⅰ	様々な面で支援が必要なケースが多いので、行政の縦、横のつながり、連携を図ってほしい。相談しても「管轄外だから」と他の部署にたらい回しをすることがないように対応していただけたらと思います。	賛同	子どもの貧困対策は教育、福祉、子育て支援等の幅広い分野に係る総合的な取組が必要であることから、こども青少年局、教育委員会事務局や健康福祉局などの関係局区間の連携を図りながら総合的な対策を進めていきます。
95	主要施策Ⅰ	早い段階で素晴らしい人たちと出合えるよう環境が整っていることが大切だと思います。親が意識、志の高い人に囲まれて育児できることこそが子どもの貧困を防いでいくのでは？そのためには産院から関わる人材が高い意識とスキルを備えていること。その人たちが次に続く支援者たちと同じ思いで連携していることが不可欠です。産院からの支援者たちの横断的な交流・人材確保・スキルアップによるプロ意識向上のための施策が必要かと思います。	賛同	子どもの貧困対策は、困難を抱える子どもや家庭に、日常の様々な場面で気づき、見守り、支援につなげていく方や、専門的な支援を担う方など、多くの方が役割分担をしながら支えていく取組です。 また、行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。 一方、支援に携わる方の中には、日ごろの子どもや家庭との関わりの中で悩みや不安を抱えていたりする場合もあり、行政としてしっかりとサポートしていくといった視点で計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
96	主要施策 I	様々な対策が行われており、少しずつ改善されてきている。その中で、支援があることがわからない、手続きが大変だと思っている人がいるかもしれない。でも、地域や学校等から連絡はいく筈だと思う。あとは、関わりを持ちたくない、自分から声に出せない、学校等に行けず、状況が知られていないなどの人々への支援や、対応がされているかがわからない、今、戸籍のない子はいないのか。	賛同	困難を抱えている子どもや家庭の中には、必要な支援制度を知らなかったり、手続きが分からないということがあります。そのため、困難を抱えている子どもや家庭を、日常の様々な場面でできるだけ早期に発見し、具体的な支援や見守りにつなげていく必要があります。妊娠・出産・乳幼児期では、母子保健の取組や保育所、幼稚園、地域の子育て支援の場面で、学齢期にあっては、学校をはじめ、放課後の居場所や地域における様々な子どもの居場所において、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげてまいります。
97	主要施策 I	地域における子どもの見守りや、居場所づくりとして、プレイパーク事業を、推進する要望が多く感じます。特に、コロナ禍において、スポーツクラブや学校開放が少なくなっており、利用者が増えています。また、子育て親の集う場所にもなって、子どもの虐待防止になると感じています。	賛同	子どもや家庭に関わる様々な方が、地域の中で困難を抱える子ども・若者、家庭に寄り添い、見守ることにより、孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる環境が重要だと考えています。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
98	主要施策 I	2年前から子ども食堂を運営しているものです。新型コロナウイルス影響下でも対策に気をつけて活動しているのですが、子どもがなかなか来なくなってしまっています。食事を配っているところもあるとのことですが、私たちがこれまで行ってきた取組とのギャップもあり葛藤しています。子どもたちに手を差し伸べたい。だけれどどのようにすればよいかわからない方たちも多いと思います。横浜市としてもしっかり応援していただけないでしょうか。	賛同	子ども食堂等の地域の自主的な取組が、子どもにとって安心できる居場所となり、困難を抱える子どもへの気づきや見守り等ができるよう、地域における子どもの居場所づくりの支援を推進してまいります。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
99	主要施策 I	学校現場ではスクールソーシャルワーカーが足りていないと感じる。配置の充実が必要ではないかと思っています。	賛同	多様化する子どもの課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーの活用推進・育成体制を強化し、区役所や児童相談所等の関係機関との連携を強化してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
100	主要施策 I	支援につながっていない子どもや家庭がまだまだ多いと思う。小さい頃から地域の人との関わりや、保育所や学校などで適切な大人との関わりを持てることが大切だと思う。貧困になってしまった後で気づくのでは遅い。	賛同	妊娠期から学齢期、青少年期に至るまで、困難を抱える子ども・若者、家庭に保育所、幼稚園、学校、地域、区役所等日常の様々な接点や関わりの中でいち早く気づき、関係機関のネットワークを充実させることで、早期に支援につながっていきます。 子どもや家庭に関わる様々な方が、地域の中で困難を抱える子ども・若者、家庭に寄り添い、見守ることにより、孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる環境づくりを進めてまいります。
101	主要施策 I	現実的に低所得の方が出てきてしまう、それを止めることはできないと思います。ただ、周囲の大人たちが協力して困っている人たちを助ける、極力貧困になるリスクを軽減することはできるのではないかと思います。私たちのように食堂を運営している民間の人、企業の人、多くが地域にはいます。専門性はないかもしれませんが普段から子供と接していて様々な問題に気づく場合もあります。皆で協力して対策をしていく、そんな優しい地域づくりを目指していければと思います。	賛同	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。
102	主要施策 I	子ども食堂は貧困の子どもたちのためだけの居場所ではありません。スタッフさんも頻繁に来れるわけではないので毎月1回しか開催できていませんが、本当に色々な家庭で育つ子どもたちが来てくれる、という印象です。会場費もかかるので、子ども食堂のために使える補助金があればいいと思いました。横浜市が支援してくれるととても助かります。	賛同	子ども食堂等の地域の自主的な取組が、子どもにとって安心できる居場所となり、困難を抱える子どもへの気づきや見守り等ができるよう、地域における子どもの居場所づくりの支援を推進してまいります。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
103	主要施策 Ⅰ	最近では地域の中でも子どもたちの様子が見えづらくなっているように感じます。地域の様々な場所で困難を抱える子供たちを見つけ出していくという重要性はわかります。子どもの時間は学校だけではありません。放課後の居場所づくり、安心してみんなで楽しむことのできる居場所を求められているとひしひしと感じています。	賛同	子どもの貧困に関する実態把握のための調査においても、放課後に一人で過ごす子どもは、それ以外の子どもと比較して、自己肯定感が低いといった状況も見られています。 核家族化の進展により地域とのつながりが希薄になっている現在、家や学校以外で子どもが安心して過ごすことができ、様々な世代とつながることのできる居場所の重要性は高まっていると考えられます。 計画に基づき、地域における子どもの居場所づくり等の支援や放課後の居場所づくりの取組を進めてまいります。
104	主要施策 Ⅰ	困難を抱えている人や家庭は、自分から助けを求める事が難しい場合もあると思う。日常生活の中で様々な接点や関わりを持つ機会を大切にし、一人ひとりが気にかける勇気を持つことが必要だと思う。	賛同	困難を抱えている子どもや家庭の中には、必要な支援制度を知らなかったり、手続きが分からないということがあります。 そのため、困難を抱えている子どもや家庭を、日常の様々な場面でできるだけ早期に発見し、具体的な支援や見守りにつなげていく必要があります。 妊娠・出産・乳幼児期では、母子保健の取組や保育所、幼稚園、地域の子育て支援の場面で、学齢期にあつては、学校をはじめ、放課後の居場所や地域における様々な子どもの居場所において、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげてまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
105	主要施策 I	<p>「妊娠期から学齢期、青少年期に至るまで、困難を抱える子ども・若者、家庭に保育所、幼稚園、学校、地域、区役所等日常の様々な接点や関わりの中でいち早く気づき、関係機関のネットワークを充実させることで、早期に支援につなげていきます。」</p> <p>とあるが、ネットワークを充実させる手段がより具体的かつ多様になるとよいと思う。各々の機関が支援を行っても、その機関から対象者が離れてしまうと、支援が切れてしまったり、改善していた状況が元に戻ってしまったりしがち。また、一つの機関が他機関に協力を求めても支援が広がらず立ち消えになってしまうことがあるようで、具体的な連携の大切さを感じる。</p>	賛同	<p>子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。</p> <p>そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。</p>
106	主要施策 I	<p>学校の負荷が大きくなってしまわないように、地域住民のコミュニティーや子育て支援機関との連携を深める基幹システムの構築が必要と思われます。</p>	賛同	<p>子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。</p> <p>そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。</p>
107	主要施策 I	<p>子どもの貧困に関する情報が途中で途切れていることに問題を感じている。幼少期のことが、就学以降の育ちに影響を与えていることが多いはず。</p> <p>保育要録のような紙や口頭ベースではなく、横浜市内であれば、共通のデータベースを作り、未就学時期→小学→中学→高校と、継続して関連する機関が、子ども個人の経過を確認出来る仕組みが出来るとを願っています。</p>	参考	<p>妊娠・出産期から、子どもの成長段階に応じ、家庭内の課題を早期に発見し、より困難な状況に陥ってしまわないよう、適切な支援につなげていきます。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
108	主要施策 I	住宅ばかりで公園、緑地が少ない。ただの公園ではなく落ちついた、おしゃれな公園。(※広さも必要)老若男女が集まる公園。支援ステーション。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
109	主要施策 I	社会福祉法人というくくりで、その地域で貢献できるメニューが分かりにくいです。地域貢献事業に思いはありますが、法人も人手不足です。 横浜市の当局としてのご努力にはいつも感謝と敬服をしております。	参考	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。 そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。
110	主要施策 I	高校時代に妊娠して中退し、子どもを産んで、その後離婚というケースが多々ある。さまざまな課題に対応する学校の取り組みに「性教育」と高校中退の親の就職難など、子どもたちに学んでもらう必要があると考える。	参考	横浜市立学校では、学習指導要領に準拠した性に関する指導を実施しています。高等学校の保健体育科の保健では、「生涯を通じる健康」で、結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解し、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題や、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などを取り扱う内容となっています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
111	主要施策 I	子どもの相談を受ける団体のネットワークを築き、かつ、団体を支援・育成する仕組みを作ること。	参考	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。 そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
112	主要施策Ⅰ	母子保健、地域子育て支援に携わる区役所職員を増員すること。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
113	主要施策Ⅰ	小・中学校へ対応するスクールソーシャルワーカーを増員し、特に高校へ抜本的に増員すること。	参考	スクールソーシャルワーカーの活用推進・育成体制強化、関係機関との連携強化については、「第4章主要施策Ⅰ」に位置づけ、頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
114	主要施策Ⅰ	学童保育の安全運営には、保護者負担軽減、指導員の確保と処遇改善、小規模クラブの存続が不可欠です。そのための補助金を増額すること。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
115	主要施策Ⅰ	児童虐待の増加に対応するため、児童相談所、区役所の専門職員増員と処遇改善を行うこと。	参考	増加傾向にある児童虐待への対応のため、児童相談所においては、児童福祉司等の職員の増員に取り組んできました。今後も児童虐待の件数増を踏まえ、相談支援体制の強化に努めてまいります。 また、区役所では、「こども家庭総合支援拠点」機能を令和4年度中に全区で整備します。機能整備された区では、国の設置基準を踏まえ、社会福祉職や心理職等の専門職を増員し、区での児童虐待等の機能強化にさらに取り組んでいきます。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
116	主要施策Ⅰ	家庭に居場所のない若年女性を支援する団体の相談窓口を支援し、安全に宿泊できる場所を公的に提供すること。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
117	主要施策Ⅰ	子ども食堂、学習支援などを行う子どもの居場所づくり活動支援事業は、補助用件を緩和し、補助金を抜本的に増額すること。	参考	子ども食堂等の地域の取組に対する補助金については、令和3年度は、コロナ禍においても、地域の活動が継続され、子どもや家庭とのつながりを維持していけるよう、月1回以上の継続的な取組も補助対象に拡充しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
118	主要施策 I	学区内に最低でも1つの子ども食堂があるのが理想。予算を拡充して欲しい。	参考	子ども食堂等の地域の自主的な取組が、子どもにとって安心できる居場所となり、困難を抱える子どもへの気づきや見守り等ができるよう、地域における子どもの居場所づくりの支援を推進してまいります。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
119	主要施策 I	学校の先生方は忙しく大変だと思うが、学校は子どもたちが一日の大半を過ごす場所なので、子どもたち一人ひとりが抱える悩みや課題をいち早く察知し、解決に向けてスピード感を持って取り組んでほしい。解決にあたっては、学校内だけで何とかしようとせず、行政や地域で活動する支援者ともしっかり連携しながら、適切な支援につなげてほしい。	参考	多様化する子どもの課題に対応するため、校内体制の強化や学校と関係機関との連携を福祉的な側面から支援するスクールソーシャルワーカーの活用を強化・推進します。また、各校を巡回し、学校のニーズへの適切な対応がより求められるスクールソーシャルワーカーの育成体制を強化し、支援の質の向上・平準化に取り組みます。さらに、区役所や児童相談所、社会福祉協議会や地域ケアプラザ等の関係機関とのネットワークを構築し、困難を抱える家庭への支援を通じ、子どもの健やかな成長を支えます。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
120	主要施策 I	予期せぬ妊娠、若年層の妊娠へのフォローが重要である。 「にんしん SOS ヨコハマ」はあるが、生後0日目の死亡や、産んだけれども育てられない、という状況をなくさなければならない。妊娠したことを家族にも伝えられず悩む子どもに、学校は即退学ではない寄り添いが必要であり、産婦人科医も産むか産まないかを迫るのではなく、若年層の居場所としての「町の保健室」の機能があれば、救える命がもっとあると考える。 学校を卒業し、就職、結婚、妊娠、出産、子育てと続く大きな変化を、滑らかに繋いでいく仕組みがほしい。	参考	妊娠期から学齢期、青少年期に至るまで、困難を抱える子ども・若者、家庭に保育所、幼稚園、学校、地域、区役所等日常の様々な接点や関わりの中でいち早く気づき、関係機関のネットワークを充実させることで、早期に支援につなげていきます。 子どもや家庭に関わる様々な方が、地域の中で困難を抱える子ども・若者、家庭に寄り添い、見守ることにより、孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる環境づくりを進めます。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
121	主要施策Ⅰ	子育て中の親や家庭の抱える問題は、外部からは見えにくいことも多い。誰かが家庭を訪問する機会は、こんにちは赤ちゃん訪問以降、当事者からの発信または何か事が起こった時に限られる（以前は幼稚園により、また小中学校で家庭訪問があった）。貧困に限らず、発信できないで困っている人や家庭に気づくしくみが必要ではないかと思う。子ども一人ひとりに対してまたは親一人ひとりに対して、困りごとに対する相談を受けることができる、制度にも詳しい専門職の配置、高齢者におけるケアマネジャー的な存在、子どもに対するケアマネジャー的な存在の制度化ができると良い。	参考	困難を抱えている子どもや家庭の中には、必要な支援制度を知らなかったり、手続きが分からないということがあります。そのため、困難を抱えている子どもや家庭を、日常の様々な場面でできるだけ早期に発見し、具体的な支援や見守りにつなげていく必要があります。妊娠・出産・乳幼児期では、母子保健の取組や保育所、幼稚園、地域の子育て支援の場面で、学齢期にあつては、学校をはじめ、放課後の居場所や地域における様々な子どもの居場所において、困難を抱えている可能性のある子どもや家庭に気づき、見守り、必要に応じて適切な支援につなげてまいります。頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
122	主要施策Ⅰ	「妊娠期からの切れ目のない支援の充実」を目指すのであれば、子どもが生まれた時に手渡す「母子手帳」を成人するまで使えるようなものにして支援内容をきめ細かく載せ、スマホにアプリで入れられるような他の自治体の取組を参考にして、積極的に知らせてほしい。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
123	主要施策Ⅱ	貧困＝お金がないだけではない。といった認識が必要。子どもたちがいかなる環境に生まれても生活や学習が平等に保障され自分の将来に希望が持てるようにするために横浜市が先頭に立って支援を行なうこと。貧困家庭にこの対策の情報が届くような方法を考えていくこと。現状はそうなっていないように思える。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
124	主要施策Ⅱ	高等教育の修学支援内容が具体的にわかりづらいので、具体的に子どもが読んでも分かるように表記するとともに、横浜市立大学だけでなく他の高等教育についても支援の枠組みを拡げて下さい。借金をしなければ高等教育を受けられない子どもが多くおり、大学を出る際には借金を抱えて就職するのが当たり前の社会はおかしいです。	修正	「高等教育の修学支援新制度」の記載内容について、修正しました。頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
125	主要施策Ⅱ	学習習慣の基盤というものは、子どもが小さい段階から育ていくものだと考える。中学生や高校生になってからでは遅い子どもも多い。子どもたちがやる気を無くしてしまう前に学習支援を始める必要があると思う。	賛同	経済的に困窮している世帯の子どもほど、家庭環境が整っていないことや保護者の養育力不足などにより、基本的な生活習慣や学習習慣が身につけていない傾向にあります。頂いたご意見等も踏まえ、経済状況や養育環境に課題を抱える世帯で育つ子どもに対する生活・学習支援等の取組を進めてまいります。
126	主要施策Ⅱ	経済的な問題から塾に行くことのできない子どもを散々見てきました。家庭の経済状況によって子どもの学習環境といった面で差がつくのはあってはならないと思います。学歴社会の日本においては高校や大学に進学することは必須です。横浜市としてもそういった子供たちを対象として、学習できる場所を今後も増やして行ってください。	賛同	経済的に困窮している世帯の子どもほど、家庭環境が整っていないことや保護者の養育力不足などにより、基本的な生活習慣や学習習慣が身につけていない傾向にあります。頂いたご意見等も踏まえ、経済状況や養育環境に課題を抱える世帯で育つ子どもに対する生活・学習支援等の取組を進めてまいります。
127	主要施策Ⅱ	この日本で安定した生活をしていくということは学歴が大事。しっかりと学校に行けるような支援も必要だと思います。	賛同	全ての子どもを対象とした「子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進」を子どもの貧困対策の基盤に据えるとともに、養育環境等に課題がある子どもに対する学習支援等の取組を進めていきます。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
128	主要施策Ⅱ	生活支援、学習支援事業に加え、体験を通して学ぶ、伝統、社会性、科学的物の考え方が将来の自立に向けて重要と考える主要施策Ⅱは有益な取り組みと考える。	賛同	養育環境等に課題がある子どもに対する生活支援や高校進学のための学習支援、地域における多様な体験活動等を通じて、将来の社会的、経済的自立に必要な知識・能力及び社会性等を身に付けることができるよう、頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
129	主要施策Ⅱ	関係機関との連携（保育所や学校）については、全体を見守れる体制作りが必要であると思う。	賛同	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。
130	主要施策Ⅱ	<p>主要施策 2 放課後学び場事業の他に放課後遊び場事業もあるといいと思った。4年生以上の子が参加でき、リーダー性を習得できるようにするか。</p> <p>児童期の3間（時間・空間・仲間）が、SNSの発展で、便利な一方で、子ども同士のコミュニケーションや人間関係が低下し、孤立へと導いてしまう。</p> <p>仲間が学力や能力を補うために塾や習い事へ行くと、遊びを通しての関わりが、つくれない。</p> <p>児童期には、遊びを通して、感じとるものが大切な時期に、3間を活かせる支援も取組んでいくべきだと思いました。</p>	参考	<p>本市では子どもたちに「遊びの場」・「生活の場」を提供する放課後キッズクラブ事業と放課後児童クラブ事業の実施や子どもたちの自主性や冒険心を育み、生き生きと活動するための遊び場・居場所であるプレイパークの活動を支援しています。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
131	主要施策Ⅱ	生活支援とは具体的にどのようなことを想定しているのでしょうか？中学生の大半が所持するようになったスマートフォンの使い方やお金(特に多くの奨学金は将来返済の必要がある借金であることをきちんと本人に説明する機会を設ける)などの支援も含まれているのでしょうか。生活支援として入浴や洗濯なども大事なものは理解しますが、プラスアルファで令和の時代にあった生活支援のアップデートを期待しています。よろしくをお願いします。	参考	寄り添い型生活支援事業については、保護者の疾病や生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して、生活・学習習慣を身に付けるための支援等を行うことで、生活能力の向上を図り、自立した生活を送れるようにすることを目的に以下のような支援を実施しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、歯磨きの練習、簡単な調理、食卓の準備、洗濯や掃除等の指導(日常生活習慣等を身に付けるための支援)</li> <li>・宿題や復習等を中心とした学習支援(学習の習慣づけ)</li> <li>・対象者及びその保護者への相談支援(居場所の提供)</li> </ul> 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
132	主要施策Ⅱ	日本は学歴社会、貧困対策は子どもの学習支援につきて思う。貧しい子どもたちにもしっかり学習できる環境を今よりどんどん整備してもらいたい。	参考	引き続き、経済状況や養育環境に課題を抱える世帯であっても将来自立できるよう、子どもに対する生活・学習支援等の取組を進めてまいります。
133	主要施策Ⅱ	1月-2月に中学1年生を対象に家庭教師を派遣する教育支援事業は、中学1年生だけでなく、2、3年生も必要だと考える。募集時は学校が情報を渡す必要があると考える。	参考	事業の実施にあたっては、対象となる世帯に情報が行き渡るよう工夫してまいります。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
134	主要施策Ⅱ	コロナ禍のため難しいと思いますが、子ども食堂や地区センター利用により、地区の高齢者～子どもがつながり合い、話し合い助け合える場をつくることを手伝えるような具体策が出てくることを期待したい。	参考	子どもたちが多様な体験や、様々な世代との交流を通して、自己肯定感や将来の自立に向けた力を育むことのできる環境の充実を図っていく必要があると考えています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
135	主要施策Ⅱ	市の高校奨学金の学力要件を外して、さらに利用者数、利用額を増やすこと。	参考	高校生を対象にした給付型奨学金につきましては、対象者数を平成30年度の1,160人から、段階的に拡充し、令和3年度から2,000人としました。 頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
136	主要施策Ⅱ	生活保護家庭に更なる大学等進学支援策を講じ、児童養護施設や里親から自立する人へ市独自の入学助成・奨学金など大学等進学支援策を作ること。	参考	生活保護制度においては、高校卒業後世帯として自立を目指していただくことが前提ですが、高校生自身の収入を、学力の向上や進学等に向けた費用の一部に充てることのできる取扱いが設けられる等、自立を支援する施策の幅が広がっており、適切に運用してまいります。 また、本市独自の大学等進学支援策としては、大学等へ進学する際の自立するための経費の支援や、大学等へ納入が必要な初年度の経費及び家賃支援に取り組んでいるところですが、頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
137	主要施策Ⅱ	親からの仕送りが減り、アルバイト先もなくなった大学生の学業を保障するために、市による返済不要の大学奨学金制度を創設すること。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
138	主要施策Ⅱ	ひとり暮らしの若者への家賃補助制度を創設し応援すること。	参考	住宅セーフティネット制度では、平成30年度より、若年単身者を含む低額所得者が入居するセーフティネット住宅に対し、家賃及び家賃債務保証料の補助を実施しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
139	主要施策Ⅱ	地域ユースプラザを市内4か所から全区に設置し、引きこもりの本人と家庭へ支援が届くようにすること。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
140	主要施策Ⅱ	小学生のプログラミング教育が進められている。学校で子どもたち一人一台のパソコン整備や貸し出しの有無が議論されているが、パソコンを持ち帰れたとしても家庭のネット環境により、学習できる子とできない子の差が出るのが予想できる。どんな家庭で育つ子も格差が出ないように、同じように学べるように、放課後キッズクラブや学童保育など小学生の放課後の居場所でのIT環境の整備、それ以外にも小学生がIT環境の整った居場所で、そこにケアする人がいる中で学習し、大人と関わることができる場の整備が必要と考える。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
141	主要施策Ⅱ	小学校給食を無料にしてください。	参考	学校給食の実施に係る費用については、学校給食法第11条および施行令により、学校設置者の負担と保護者の費用負担の区分が示されており、食材費相当分を給食費として徴収しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
142	主要施策Ⅱ	中学校でのハマ弁を名前を変えただけのデリバリー式の給食を止めて、出来る中学校から集約して給食を作るようにし、明石市のように中学校給食を全員無料にしてください。	参考	令和3年度からデリバリー型の給食を事業期間を5年間として実施しています。なお、本事業のあり方については今後の検討課題として認識しています。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
143	主要施策Ⅱ	明石市のように、幼稚園給食を、おかずだけでも無料にしてください。	参考	<p>幼児教育・保育の無償化の実施にあたって、国における検討会の中で、3～5歳児の教育・保育における食材料費に関しては、以下①～④を踏まえて無償化の対象から除くべきであることと整理されました。</p> <p>① これまでも基本的に、実費徴収又は保育料の一部として保護者が負担してきたこと</p> <p>② 在宅で子育てをする場合でも生じる費用であること</p> <p>③ 学校給食や他の社会保障分野の食事も自己負担とされていること</p> <p>④ 幼稚園（教育・保育認定区分1号）と保育所（教育・保育認定区分2号）の取り扱いを統一すべきであること</p> <p>こうした趣旨や経緯を踏まえ、本市としても食材料費については保護者による実費負担として整理しており、副食費について無償化とすることは困難と考えております。なお、低所得者層及び多子世帯を対象として、副食費の免除制度が設けられています。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
144	主要施策Ⅱ	国策として、私立大学と見合うように国公立大学の授業料が引き上げられてきましたが、本来は、国公立大学に合わせるように私立大学の授業料を下げるべきものと考えます。大学の授業料の引き下げを、国に強く要望してください。	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
145	主要施策Ⅱ	地域の居場所における体験において、就業体験を盛り込むことにより子どもが社会で活躍する将来像をイメージしやすくなるよう支援する施策も必要と思われます。	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
146	主要施策Ⅲ	支援の内容が、必要な人に具体的に知られているとは思えません。LINEで登録してもらった人が、必要な支援を通知で受けるようにして、知らせるようにしてください。	修正	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
147	主要施策Ⅲ	国で子どもの貧困法が成立してから子どもの貧困は改善していないように思える。コロナの影響で家計が厳しい人たちが増えていくと、子どもたちにしわ寄せがきてしまうのではないのでしょうか。	賛同	支援者等ヒアリングでは、新型コロナウイルス感染症の影響による失職や、特にパートタイム等の非正規雇用で働く方の勤務時間や勤務日数の減少に伴う収入の減少により、困難を抱えている子育て世帯が増えていることが指摘されています。 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も長引くことになれば、子どもの貧困を取り巻く状況はますます厳しくなることが懸念されます。 本計画を基に、引き続き、教育・福祉・子育て支援等の総合的な取組の充実を図るとともに、社会情勢を注視しながら、随時、施策の検討や各取組の拡充等を行ってまいります。
148	主要施策Ⅲ	生活保護を受けてないから子育てサービスが受けれないと嘆いている親御さんがいらっしゃる。子育て支援をせめてひとり親で生活保護を受けてない人も対象にすることで安心して子育てができると思う。	賛同	子育て家庭の様々なニーズに対応した一時保育事業等や、育児に不安や課題等を抱える家庭に対する支援等により、保護者の心身の負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えます。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
149	主要施策Ⅲ	コロナ禍が続き生活困窮者が増えているが、現金も食べ物もなくなるぎりぎりまで我慢している人がいる。早急に手続きを進めたいが、生活保護を受けたくない人もいて、支援の難しさがある。また、子ども食堂やフードパントリーなどで支援したいと思っても適切な人になかなか繋がらないもどかしさも感じている。NPOなどの支援団体と、行政、社会福祉協議会などが速やかに連携できる仕組み作りを望む。	賛同	子どもの貧困対策は行政だけでなく地域の皆様や企業、関係団体など様々な方がそれぞれの立場や視点から主体的に支援に参画していく必要があります。 そのためには、支援に携わる方が子どもの貧困に関する共通認識を持ち、必要な地域資源につなげたり、活用するといった視点から、子どもの貧困に関する感度や支援のスキルを高めていくことが重要です。計画推進にあたっては、上記視点を踏まえた人材育成や情報共有・ネットワークづくりにも取り組み、支援の充実を図ります。
150	主要施策Ⅲ	児童手当は18歳までは続けて欲しい。源泉所得税の税率が下がるからだとは思いますが、低所得の場合月々の税金は数千円。毎月1万円の手当がなくなるのは大きい。	参考	頂いたご意見につきましては、「第4章主要施策Ⅲ」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
151	主要施策Ⅲ	<p>学齢期の援助金を充実させることには賛成です。</p> <p>市からいろいろな補助金が出されますが区役所などから保護者へ直接渡すと、子どものために使わずに他のお金に回されてしまうことがあります。</p> <p>学校への振り込みなどにしてもらえると教材費など学校に納めるものにきちんと使われるようなシステムの構築をお願いします。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
152	主要施策Ⅲ	<p>4人子どもを産んだのに、支援が薄い。少子化に貢献できて良かったと思う反面、保育園も入園しづらく、入園できたと思ったら、第3子だろうが、第4子だろうが、保育園に兄弟児がいないと第1子扱いになるのは納得いかない。</p> <p>小児医療費助成もせめて小学6年生まで無料で、中学から500円にしてほしい。</p> <p>小学生までは身体が弱い。こどもがたくさんいる家庭ほど、貧困ひっ迫してしまっている。いくら両親が共働きで頑張っている、これからこどもにかかる将来費用を考えると、ローンも払いながら先行きが、不安でしかない。老後の心配まで、いまは考えられない。</p>	参考	<p>子どもが複数人いるご家庭の利用料軽減措置(多子軽減)については国の基準に則った軽減を行っております。上のお子さんが小学生となると減免が適用されなくなるため、制度の分かりづらさや、子どもの人数に応じた負担軽減とはなっていないという課題があります。</p> <p>多子軽減について更なる負担軽減策の実施に向けて、本市の財政状況を考慮しながら、対象範囲や減免額を検討していきます。</p> <p>また、小児医療費助成制度の見直しにつきましては、多くの市民の方々から様々なご意見を頂戴しており、厳しい財政状況の中、持続可能な制度となるよう、丁寧に検討を進めているところです。</p> <p>お子さんが複数人いらっしゃるご家庭において、金銭的な負担をはじめとし、様々なご苦労があると思います。</p> <p>頂いたご意見につきましては、今後の本市の子育て支援を充実させていくための参考とさせていただきます。</p>
153	主要施策Ⅲ	<p>子どもの医療費無償化を中学校卒業まで、できれば高校卒業まで実施してほしい。</p>	参考	<p>小児医療費助成制度の見直しにつきましては、多くの市民の方々から様々なご意見を頂戴しており、厳しい財政状況の中、持続可能な制度となるよう、丁寧に検討を進めているところです。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
154	主要施策Ⅲ	保育園を希望する場合どの子どもも入園できるように整えてほしい。兄弟の場合、保育園が分かれることなく入園できるようにしてほしい。	参考	「横浜市給付認定及び利用調整に関する基準」では、既にきょうだいが利用している施設・事業の利用を申請する場合には、利用調整においてランクを1つ引き上げ、調整指数を4点加点し、できるだけ同一園の利用ができるよう配慮しているところです。様々なご事情により保育を希望されている方が多くいらっしゃる現状においては、保育の必要度に応じた優先順位の基準を設けており、これ以上の優先的な取扱いは困難と考えております。また、多様な保育・教育ニーズへの対応を図り、待機児童解消に向けて保育・幼児教育の場の確保に取り組んでまいります。
155	主要施策Ⅲ	保育士の給与が低すぎるので、引き上げて保育士の離職を防いで欲しい。	参考	保育士の処遇改善に取り組むことの重要性は認識しています。国としても、公定価格において処遇改善を実施しています。これに加え、市としても、国の処遇改善に追加的な改善を行ってきているところです。また、令和3年度に国が補正予算において「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業」を実施するにあたって、市基準の保育士配置を行うための保育士等についても同様の処遇改善がなされるよう、本市独自助成を実施します。さらに、保育士宿舍借り上げ支援事業、休憩室や更衣室等の整備に対して補助を行う保育士等の職場環境改善事業、手厚い保育士配置基準など、保育士が働きやすい環境整備にも取り組んでいます。保育士がより一層自信と誇りを持って長く働くことができるよう、今後も、頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
156	主要施策Ⅲ	貧困の子どもというのはどういう状況におかれている子どもか、税金を使って支援していくということであれば年収いくらまでというように決めていかなければならない。支援がいらぬ子どもにお金をつかう必要はない。	参考	「子どもの貧困」の定義は法律等においても明確には示されていません。しかし、家庭の経済的困窮その他の様々な要因により、子どもの成長や学習に必要な物が不足していたり、社会的・文化的な経験の機会が取り上げられたりする（剥奪がある）こと、社会的に孤立して必要な支援が受けられず、一層困難な状況に置かれてしまうなど、将来を担う子どもが、健やかに育ち、自立していく環境が損なわれている状況があります。そのため、経済的支援に限らず、全ての子どもが質の高い教育・保育を受けることができる環境作りや子どもの貧困の背景に留意した多面的な支援を行っていく必要があると考えています。
157	主要施策Ⅲ	生活保護のあり方をしっかり評価すべき。なぜこの人が生活保護をもらっているのかという人が多すぎる。	参考	生活保護は国の制度ですので、これまでも制度改正等の検討や制度のあり方についての評価は国で行われています。引き続き、定められた調査を行い、適正に保護が実施されるように取り組んでまいります。
158	主要施策Ⅲ	全体的にまとまっていて良い取組だとは感じます。生活困窮世帯は医療機関も中々受診できず、健康格差があるとの考察もあったかと思う。子どもの年齢を問わず、所得制限の撤廃を検討してもらいたい。	参考	小児医療費助成制度の見直しにつきましては、多くの市民の方々から様々なご意見を頂戴しており、厳しい財政状況の中、持続可能な制度となるよう、丁寧に検討を進めているところです。頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
159	主要施策Ⅲ	母子手帳の中にこれから一人で子どもを産む母親への支援、産後のヘルパーの支援や児童扶養手当などの経済的支援に関するページを作ってみてはどうでしょうか。複数の支援があるということを知ることによって安心する方もいると思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
160	主要施策Ⅲ	母子家庭や低所得者世帯の子供達の食生活を見直し子供の健康的な身体作りに役立つようにスーパーやデパート食品街で使える金券を毎月配る(野菜果物のみにつかえる)ようにしたら良い。助かる家庭は多いと思う。 アメリカではフードスタンプという食料品売り場で使えるカードを配っているので日本も参考にして欲しい。 子供達は今低身長だったり平均より小さな子供が目立つので日本の未来のためにも低所得者世帯へ食育が充分に出来る手助けをすべきだと思います。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
161	主要施策Ⅲ	多子家庭における就学支援や経済的な支援を計画に入れられていないと思います。	参考	進学支援・就学継続支援や生活基盤の弱い世帯等に対する経済的支援については、「第4章主要施策Ⅱ及びⅢ」に位置づけ、着実に計画を推進してまいります。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
162	主要施策Ⅲ	就学援助の認定基準となる総所得額を引き上げ、対象者を増やすこと。	参考	本市の就学援助の認定基準は、「横浜市就学奨励対策審議会」において、国や他都市の動向、申請状況などを踏まえ決定しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
163	主要施策Ⅲ	小児医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大し、一部負担金をなくすこと。	参考	小児医療費助成制度の見直しにつきましては、多くの市民の方々から様々なご意見を頂戴しており、厳しい財政状況の中、持続可能な制度となるよう、丁寧に検討を進めているところです。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
164	主要施策Ⅲ	妊婦健康診査費用補助券の枚数を増やすこと。	参考	補助券の交付枚数については、厚生労働省告示「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準（平成27年4月1日）」に基づき、妊婦一人につき14回の妊婦健康診査の補助を行っています。令和3年4月から多胎妊婦の方には、一律5枚の補助券を追加で交付しています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
165	主要施策Ⅲ	本市独自の出産費用助成を行うこと。	参考	本市では、妊産婦の方や育児に関する支援のサービスとして妊婦健診や新生児聴覚検査、産婦健診の受診の際にご利用いただける一部費用を助成する補助券を交付しています。また、新型コロナウイルス感染症流行下で、里帰りができずに親族等からの支援が受けられない場合には、産前産後ヘルパー及び母子ケアの利用に係る費用を助成する「育児等支援サービス」も進めております。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
166	主要施策Ⅲ	国民健康保険料の子どもの均等割を一般会計の負担でなくすこと。	参考	国民健康保険制度は、加入者の皆様で支えあう仕組みであり、高齢化や医療の高度化の影響で医療費が増え続ける中、制度を持続可能なものにするため、加入者の皆様にも一定程度のご負担をお願いすることが必要だと考えています。 なお、国民健康保険法の改正に伴い、令和4年度から子ども（未就学児）に係る均等割保険料の軽減措置を実施する予定です。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
167	主要施策Ⅲ	低所得子育て世帯の住まいの確保に向けて、「子育てりびいん」の入居要件引き下げ、低所得世帯家賃補助制度創設、借り上げ型含めて市営住宅増設を行うこと。	参考	子育てりびいんでは既に一定所得以下（世帯月収額0円～）の世帯の入居を可能としているほか、住宅セーフティネット制度では、平成30年度より、低額所得者が入居するセーフティネット住宅に対し、家賃及び家賃債務保証料の補助を実施しています。また、現在、市内には、市営及び県営住宅や住宅供給公社、UR都市機構の賃貸住宅を合わせた「公的な賃貸住宅」が供給されています。その中で、市営住宅は県営住宅と合わせて一定程度のストック数が供給されていると認識しています。今後の市営住宅の建替えや借上げ、長寿命化等については、住宅政策審議会の答申を踏まえ、検討を進めていきます。頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
168	主要施策Ⅲ	横浜市の公務職場の非正規雇用は一時的・限定的とし、公契約条例を制定しワーキングプアをなくすこと。	参考	市職員の配置につきましては、業務実態等を見極め、必要性を検討し、適切に対応してまいります。公共サービスの質を確保するとともに、労働者の皆様の雇用と適正な労働条件を守ることは大変重要であると考えており、公契約条例は、そのための方策の一つであると認識しています。これまで、過度な低価格競争を防止する対策を実施してきましたが、引き続き、低入札対策等を進めていきます。また、関係団体の皆様のご意見を伺うとともに、他都市の公契約条例をはじめとする様々な取組を参考にしながら、働く人の雇用や労働条件を守るための環境整備に取り組みます。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
169	主要施策Ⅲ	18歳になったその年の3月で児童手当などの支援を切られるという事で、「アルバイトをして助けてほしい」と頼まなくてはならないひとり親家庭もある。また、親が「大学進学するお金は用意している。安心して通えるから行きたい学校があれば合格してね」と子どもに伝えても、子どもは進学後、新しい環境への適応よりもアルバイトなどをして家を助けようとする傾向が見受けられる。同額の支給でなくても、給付型の子どもへの支援があると良い。	参考	子どもの貧困対策においては、生活基盤を整えるための家庭に対する経済的支援についても、充実を図っていく必要があると考えています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
170	主要施策Ⅳ	健やかな成長と教育の機会を保障すべき若者が介護のためにその権利が奪われることはあってはならない。ヤングケアラーの実態を速やかに把握し、求められている支援は何かを調査すること。当事者及び関係者の相談・支援窓口を設置するなど支援の施策・体制を早急に構築すること。	修正	令和4年度は、公立学校におけるヤングケアラーと思われる生徒の数や実態を把握するための調査を実施します。また、市民や学校、関係期間向けに広報・啓発を行うことで、社会的認知度の向上を図り、潜在化しがちなヤングケアラーの早期発見につなげていくなど、関係局で連携しながら取り組んでまいります。
171	主要施策Ⅳ	児童養護施設の子どもたちへの支援も必要。	賛同	児童虐待や家庭の養育力不足など、様々な理由により家庭で暮らすことができず、社会的養護を必要とする子どもにおいては、保護者からの経済的援助や精神的な支えがない中で、施設等退所後に自立していくことの難しさがあります。 そのため、社会的養護を必要とする子どもの支援については、本計画に位置づけて取組を進めてまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
172	主要施策Ⅳ	外国籍の子供は日本に数か月住んでいれば、表面上は日本語を話すことができるが、言語として身につけられているかはまったく別物。周囲がそこをしっかりと読み取ることが必要。彼らが将来落ちこぼれることなく、安定した生活を送るためには日本語の習得をサポートして、違う文化背景を受容できる環境づくりが大事だと考える。日本語が不自由なことはハンディだが逆に言えば日本語を習得すれば彼らはバイリンガルとして活躍の場が広がる。外国籍は対策を考える上では外せない視点。	賛同	外国籍等児童生徒への支援については、本市としても言語面だけではなく、学校生活への適応に関しても、日本語支援拠点施設をはじめとした様々な取組により充実を図ってきました。本計画においても、「第4章主要施策Ⅳ」に位置づけ、頂いた意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
173	主要施策Ⅳ	児童養護施設を出た子ども、まだ20才にもいかない子どもにとって自立した生活を整えていくのは非常に難しいと思います。最近では虐待件数も増えており、こういった子どもたちも増えてくるのではないのでしょうか。横浜市としても子ども一人ひとりの支援をしっかりと行ってもらいたい。	賛同	社会的養護を必要とする子どもは、保護者からの経済的援助や精神的な支えがない中で、施設等退所後に自立していくことの難しさがあります。本市では、施設等退所後児童に対するアフターケア事業において、退所後も児童の状況を継続的に把握し児童に寄り添いながら困りごと等をサポートする支援コーディネーターを配置し、施設等や関係機関と連携した支援体制を構築し、退所後児童の支援に取り組んでいます。
174	主要施策Ⅳ	外国人で離婚して子どもと一緒に国に帰りたいと言う声をよく聞く。外国人にとって情報や問い合わせ先などがもっとわかるようにすることで、日本の印象も良くなると考える。	賛同	市内在住の外国人の方への一般生活に関する相談対応や生活情報の提供等については、多文化共生総合センターや国際交流ラウンジ等で行っています。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。
175	主要施策Ⅳ	ひとり親家庭は、経済面でも精神面でも困難を抱えやすく、孤立しがちです。横浜市は区役所での相談なども含めてしっかり支援してくれていると思いますが、一層の充実をお願いします。	賛同	ひとり親家庭の生活の安定と向上のため、個々の家庭が抱える様々な問題に応じた総合的な自立支援を進めます。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
176	主要施策Ⅳ	<p>児童扶養手当は所得が上がるとそれに応じて下がってしまうため、給料が上がっても毎年の収入は変わらない。</p> <p>特に、高校になると児童手当もなくなるので収入が下がってしまう。尚且つ、子どもが成長するにつれ教育費が増えるのに手当が減ってしまうのは非常に困る。</p> <p>18歳になると医療費の助成もなくなるので、高等教育の支援制度など教育費の助成があるのは知っているが、少なくとも20歳まで医療費の助成を続けて欲しい。</p> <p>生活保護の方が収入が多いのも不公平感がある。</p>	参考	<p>頂いたご意見につきましては、「第4章 主要施策Ⅳ」を進める上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
177	主要施策Ⅳ	<p>社会的養護を必要とする子どもの支援において、母子生活支援施設の活用</p>	参考	<p>社会的養護を必要とする子どもの支援については、本計画に位置づけて取組を進めてまいります。頂いたご意見も踏まえながら、着実に計画を推進してまいります。</p>
178	主要施策Ⅳ	<p>不登校児童生徒への支援は市の施設だけでなく学区の近く、地域に密着したNPO法人等の利用を積極的に活用し、市、学校と連携しながらきめ細かい支援（学習面と生活面）に寄り添いが必要。そのため民間教育施設、NPOの活用が求められると良い。</p>	参考	<p>不登校児童生徒への支援においては、学校以外の居場所や個別最適な学びの場を確保することが重要であると考えております。現在、横浜教育支援センターでは、フリースクール等の民間教育施設で構成される任意団体の「横浜子ども支援協議会」と定期的な連絡会や協働事業等を実施しています。引き続き、不登校児童生徒が民間教育施設を有効活用できるよう、多様な民間教育施設やNPOとの連携を推進します。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
179	主要施策Ⅳ	<p>子供が自立するまでを支えるに当たって稼ぎ頭が1人しかいないというのは経済的な問題があると考えました。家庭の経済状況が原因で、1人になってしまい、精神的にストレスを感じて、思わぬ行動をしてしまう可能性もあると考えられます。</p> <p>そこで、生活保護を受けるという策もありますが、全国の家庭のお小遣い事情を調査し、その平均を、子供のみを対象に給付金として支給し、自立可能な年齢になったら給付金の打ち切りをするという策はどうでしょうか。</p> <p>家庭の経済事情が解決されることによって、社会の安定化にも繋がると思うので、是非ご検討ください。</p>	参考	<p>子どもの貧困対策においては、生活基盤を整えるための家庭に対する経済的支援についても、充実を図っていく必要があると考えています。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
180	主要施策Ⅳ	<p>ひとり親家庭は、非正規雇用だから低賃金で安定しない長時間労働となりやすいことがあります。こども青少年局だけではなく、公共職業安定所や経済局市民経済労働部雇用労働課と連携して、安定した正規雇用に就けて、勤務時間中は子どもを横浜市が責任を持って見守れる体制を作ってください。</p>	参考	<p>ひとり親家庭の生活の安定と向上のため、就労をはじめとする個々の家庭が抱える様々な問題に応じた総合的な自立支援を進めます。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>
181	主要施策Ⅳ	<p>社会的養護を必要とする子どもが法的には18歳までしか面倒を見れないのであれば、20歳までは横浜市が独自に面倒を見れるように補助して下さい。横浜市が上乘せ条例を定めれば出来るはずです。</p>	参考	<p>児童養護施設等への入所又は里親委託の措置を行った児童のうち、18歳以降も引き続き子どもの自立を図るための支援が必要な場合には、児童福祉法第31条に基づき20歳に達するまでの間、措置延長により支援を継続することが可能です。</p> <p>また、本市においては、施設等退所後児童に対するアフターケア事業において、退所後も児童の状況を継続的に把握し児童に寄り添いながら困りごと等をサポートする支援コーディネーターを配置し、施設等や関係機関と連携した支援体制を構築し、退所後児童の支援に取り組んでいます。</p> <p>頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
182	主要施策Ⅳ	ひとり親のメンタルケアの一環として婚活や親同士のコミュニティ形成支援も有効と思われます。また、社会的養護を必要とする子どもに対しては、施設退所年齢を25歳に引き上げることにより在籍の子どもにとって身近な社会人モデルとなり将来の展望が安心して見通せる環境になると思われます。	参考	ひとり親家庭や社会的養護を必要とする子どもへの支援については、本計画に位置づけて取組を進めてまいります。頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
183	その他	多くの支援があることが子どもの貧困を解消することではないと思う。支援はしっかりと使えなければ意味がない。そのためには本計画にのせている支援について、しっかりと周知しなければならない。ただ書いているだけ計画を作っただけでは意味はない。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
184	その他	ヤングケアラーの子どもたちについてもしっかりと支援しなければならないと思います。横浜市ではどれくらいヤングケアラーの学生がいるのか。しっかりと状況を把握しているのか。自分の親が病気だということを子どもからは言い出しにくい。そういった子どもをしっかりと見つけ出して、助けていかないといけない。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第4章子どもの貧困対策に関する取組主要施策Ⅱ」に主な取組として「ヤングケアラーに対する支援」を盛り込みました。令和4年度は本市におけるヤングケアラーの実態を把握するための調査を実施するとともに、社会的認知度の向上を図り、早期発見につなげていくため、リーフレットを作成する等、市民や関係機関向けに広報・啓発を行います。
185	その他	保育園に子どもの貧困についての施策は届いていないので、保護者から相談を受けても、区役所を勧める程度の事しかできていないので、子どもに関わる施設向けの発信をもう少しした方がよろしいと思います。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第5章計画の推進体制等について、4 情報発信・情報提供の推進」を盛り込みました。
186	その他	P12にある「貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合」について、今回調査（令和2年度）は年齢（学年）ごとの数値になっており、前回調査（平成27年度）との比較がしづらいです。今回調査分も対象年齢区分全体としての数値があると分かりやすいと思います。	修正	平成27年度に実施した市民アンケート調査は、0歳～24歳未満の子どものいる世帯の保護者を対象としており、今回の調査とは対象年齢区分等が異なるため、単純には比較できませんが、今回の市民アンケートの対象全体の「世帯に含まれる子どものうち、貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合」を追記しました。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
187	その他	スマホ依存やヤングケアラーの問題の分析がなされているのに、具体的施策が何ら打たれておりません。喫緊の課題です。この計画で対策を打ち立てて下さい。	修正	ご意見の趣旨を踏まえ、「第4章子どもの貧困対策に関する取組主要施策Ⅱ」に主な取組として「ヤングケアラーに対する支援」を盛り込みました。令和4年度は本市におけるヤングケアラーの実態を把握するための調査を実施するとともに、社会的認知度の向上を図り、早期発見につなげていくため、リーフレットを作成する等、市民や関係機関向けに広報・啓発を行います。また、計画策定後においても、引き続き社会情勢を注視しながら、必要な施策の検討や各取組の拡充等を随時行ってまいります。
188	その他	子どもの様子も数10年前とは、全然違うと思っていたが、人を信用できない、と答える生徒がこれだけいることに驚いた。子どもの精神的な支えを求められていることだと思う。必要なのはお金の支援だけではない。	賛同	支援者等ヒアリングでは、困難を抱えている家庭の子どもの特徴として、自分に自信がなく、自己肯定感が低いこと等により、逆境をはねのけ、困難に立ち向かう力が弱い傾向にあることが聞かれています。また、放課後に一人で過ごす子どもは、それ以外の子どもと比較して、自己肯定感が低いといった状況も見られています。そのため、子ども食堂等の地域の居場所における食育体験・学習機会の提供やプレイパーク、青少年関連施設等における自然・科学・社会体験など、子どもたちが多様な体験や、様々な世代との交流を通じて、自己肯定感や将来の自立に向けた力を育むことのできる環境の充実を図ります。
189	その他	計画の方向性には大変共感しました。こどもの貧困は、できるだけ子どもが小さい時からの支援が必要。学年が上がるほど対策の効果が薄くなるといった海外の調査結果もあります。	賛同	教育・保育は、経済的な困窮状態にあるなど、困難を抱えやすい状況にある子どもを含めた全ての子どもに対する営みであり、その中で子どもたちに必要な力を育むことが、子どもの貧困対策の基盤となるものと考えます。家庭の状況に関わらず、全ての子どもが質の高い教育・保育を受けることにより、子どもが健やかに育ち、自立した個人として成長できるよう、たくましく生き抜く力を育めるよう、着実に計画を推進してまいります。

No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
190	その他	支援する施設（学校、保育園、幼稚園等）に担当する職員を配置する際、余裕をもった人員配置ができるよう配慮していただきたい。日々の業務に追われている人には相談しづらい。支援が必要な人に寄り添える体制づくりをお願いします。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
191	その他	横浜市は、人口が増えていることもあり、子供たちが生活保護世帯困窮世帯に属さず、納税者になれば、更に増税が見込まれるようになるかと思えます。公務員として、暮らしやすい街づくり、横浜市民を巻き込めるように地域活性化を強く望みます。	参考	子どもの貧困対策を推進することにより、横浜の未来を創る子ども・青少年が、自分の良さや可能性を発揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会をつくりだしていく力を育むことができるまち「よこはま」を目指します。 また、子ども・青少年が健やかに育ち、自立した個人として成長できるよう、その生まれ育った環境に関わらず、教育・保育の機会と必要な学力を保障し、たくましく生き抜く力を身に付けることができる環境を整えてまいります。
192	その他	保育要録等で子どもの発達面の申し送りはされますが、家庭事情については、特に確認がないので、伝えていいものか悩む時がありますので、小学校側の確認項目として、共有されていれば漏れがなく接続できると感じています。	参考	保育所保育要録は、保育所での子どもの育ちの過程を記録し保育園、小学校と相互に子どもの理解につなげるものです。家庭事情についての確認は、必要に応じて対応していただく事項と考えております。
193	その他	ここに相談すればワンストップですべての支援情報に繋がるという窓口や仕組みを作りたい。介護保険のケアマネージャーのようなコンシェルジュが必要。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
194	その他	横浜市の給付型奨学金の金額と件数を大幅に増やすべきだし、そもそもの横浜市立の公立大学をもっと増やすべきである。もちろんその公立の大学には9割以上横浜市枠を設けるべき。まずは手始めに1学年300人規模の工業高専と1学年150人規模の商業高専を設けるべき。貧困の連鎖を断ち切るには教育しかない。	参考	全ての子どもを対象とした「子どもの豊かな成長を支える教育・保育の推進」を子どもの貧困対策の基盤に据えるとともに、社会を生き抜く力を育む教育の推進に取り組みます。頂いたご意見も踏まえながら、計画を推進してまいります。



No.	施策体系等	ご意見	対応状況	ご意見に対する考え方
195	その他	所得区分2と3の世帯で年間160万の大学費用を出せる世帯がどれだけいるかを考えてみればいい。子供が2人とか3人いてもその費用を捻出できると考えているのか。所得区分3でもかなりきつい。	参考	頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。
196	その他	経済的な部分が少なすぎる。児童手当、就学奨励事業、小児医療費助成、一時保育事業や放課後児童育成事業等の利用料の減免は国や県も実施している制度であり、横浜市らしさは皆無。そもそも現在困ってる子供たちに対する対応は、金銭的な補償である。生活保護にもならないギリギリで暮らしている子供たちに経済的支援をしなければならない。子供の貧困は、行政の責任であり、解決は行政と議会の両輪で行うべきである。	参考	子どもの貧困対策においては、生活基盤を整えるための家庭に対する経済的支援についても、充実を図っていく必要があると考えています。 頂いたご意見につきましては、子どもの貧困対策を推進する上で、今後の参考にさせていただきます。